

ひと・とち・みらい・は—もに—



土地家屋調査士

会報

ながさき

Kaihou Nagasaki/2014.9

第 70 号

(平成26年9月発行)



長崎県土地家屋調査士会

土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙の説明

野岳湖（のだけこ）

多良岳県立自然公園区域内にあり、大村市北部の東野岳町に位置する野岳湖。この野岳湖は、「深澤儀太夫」という捕鯨業を営み巨利を博した方が江戸時代初期に私財を投じ、1年7ヶ月の歳月をかけて築造した人造湖である。九州捕鯨の草分けと言われた深澤儀太夫は、当時の大村藩の財政や社会事業に貢献し、灌漑の便をはかり干ばつから領地を守った功績が今でも高く評価されている。周囲は約3km。現在の貯水能力は約120万トンで、下流の田畑約100ヘクタールに用水を供給する現役のため池である。

野岳湖中心部には吊り橋の野岳大橋もある。

湖の周囲は大村市が管理する野岳湖公園として、キャンプ場やサイクリングロードなどが整備されているほか、ロザ・モタ広場や儀太夫記念館、水辺の広場、すぐ横にはゴルフ場もある。

※バルーンによる空撮 高度約40メートル、残念ながらあいにくの曇り日

（撮影：大村支部 園木 登 会員）

目 次

○定時総会開催	2		広 報 部
・各種表彰受賞者名簿	4		
・会長挨拶	5	会 長	針 本 久 則
・法務局長祝辞	6	長崎地方法務局長	三 浦 博 文
・日調連会長祝辞	8	日調連会長	林 千 年
○会長挨拶（就任4年目を迎えて）	10	会 長	針 本 久 則
○日調連第71回定時総会報告	11	副会長（財務部長兼務）	前 田 利 孝
○日調連九州ブロック協議会定時総会報告	12	副会長（センター長兼務）	大久保 昌 幸
○長政連平成26年度定時大会報告	14	幹事長	石 橋 一 浩
○災害復興支援協定締結について	15	総務部長	角 良 一
○会報ながさき第70号特集	17		広報部・事務局
○支部だより			
・長崎支部	26	長崎支部長	田 川 康
・大村支部	26	大村支部長	吉 村 光 昭
・諫早支部	27	諫早支部長	高 島 典 之
・島原支部	28	島原支部長	中 川 忠 則
・佐世保支部	28	佐世保支部長	山 口 賢 一
・五島支部	30	五島支部長	山 下 賢 一
○平成26年度第1回全体研修会報告書	32	研修部長	船 津 学
○平成26年度第2回理事会議事録	33		事 務 局
○全国一斉不動産表示登記無料相談会報告	37		広 報 部
○土地家屋調査士会に入会して	38	長崎支部	柴 田 真 宏
	38	諫早支部	渡 部 聖 吾
	39	島原支部	中 川 雄一朗
○各部からのお知らせ	40		研修部・広報部
○会員異動、訃報連絡	41		事 務 局
○会務報告	43		事 務 局
○編集後記	44		広 報 部

平成26年度 定時総会開催

広 報 部

平成26年5月23日(金)ホテルオークラ JRハウステンボス 1階鳳の間において、長崎県土地家屋調査士会定時総会が出席会員91名、委任状77名(在籍会員201名)の参加のもと開催されました。

前川総務次長の司会のもと、出席会員全員による「土地家屋調査士倫理綱領」唱和及び「土地家屋調査士の歌」の斉唱が行われ、大久保副会長の開会の辞により総会が開会されました。物故者への黙祷が行われた後、角総務部長の先導のもと来賓の長崎地方法務局 三浦局長、松岡総務課長、東方首席登記官、長崎県 池井総務部次長、日本土地家屋調査士会連合会 宮嶋副会長、長崎県土地家屋調査士会 塩飽顧問弁護士、公益社団法人長崎県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 柴田理事長、長崎県土地家屋調査士政治連盟 相沢会長が入場され、式典へと移りました。

針本会長の挨拶(後記掲載)の後、多年にわたり業務に精励された会員(名簿は後記掲載)に表彰状が授与されました。続いて、長崎地方法務局 三浦局長の祝辞(後記掲載)、日本土地家屋調査士会連合会 林会長の祝辞(後記掲載・宮嶋副会長代読)、朝長佐世保市長の祝辞(平田広報部長代読)をいただきました。

九州ブロック協議会 谷口会長並びに九州各県会からの祝電披露の後、新入会員4

名の方の紹介と挨拶が行われました。その後来賓の方々が退場され、式典を終了し、議事へと進みました。

議事の審議に先立ち、議長として諫早支部の池田悦郎会員、議事録署名人に長崎支部 田川康会員と諫早支部 高島典之会員が選出され、議事録作成人に長崎支部の池田公成会員と佐世保支部の竹永智彦会員が委嘱され、執行部より平成25年度の会務報告、事業報告、理事会決議報告がなされました。

第1号議案 平成25年度収支決算、監査報告承認の件が上程され、原案どおり可決、承認されました。続いて、第2号議案 長崎県土地家屋調査士会 会則一部改正(案)承認の件が上程され、原案どおり可決、承認されました。続いて、第3号議案 長崎県土地家屋調査士会 役員選任規則一部改正(案)承認の件が上程され、原案どおり可決、承認されました。続いて、第4号議案 平成26年度事業計画(案)承認の件、第5号議案 平成26年度収支予算(案)承認の件が一括上程され、活発な質疑応答が行われ、原案どおり可決、承認され、議長任了の挨拶により議事を終了しました。その後、相沢名誉会長より黄綬褒章受章記念祝賀会の御礼の挨拶があり、最後に前田副会長の閉会の辞により平成26年度の定時総会は無事に終了しました。

総会後は、日本土地家屋調査士会連合会の宮嶋副会長、長崎県弁護士会の秋山副会長、長崎県司法書士会の松田副会長、長崎県行政書士会の森田会長、九州北部税理士会 長崎地区連絡協議会の協坂事務局長、長崎県社会保険労務士会の濱専務理事、公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会の山縣専務理事、一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会の森重会長、長崎県土地家屋調査士会の塩飽顧問弁護士、公益社団法人長崎県公共嘱託登記土地家屋調

査士協会の柴田理事長、長崎県土地家屋調査士政治連盟の相沢会長の11名の来賓の方々並びに会員多数の出席のもと、懇親会が開催されました。来賓を代表して、日調連の宮嶋副会長に挨拶をいただき、長崎県行政書士会の森田会長の乾杯により開宴となりました。懇親会では、来賓の方々とはもちろん、会員同士の会話も大いに盛り上がり、さらに懇親を深められたと思います。最後に長崎県司法書士会の松田副会長の万歳三唱で懇親会は盛会裏のうちに終了しました。



会場のホテルオークラJRハウステンボス



針本久則会長の挨拶



来賓の皆様



会場の様子



表彰状授与式



議長就任挨拶



森田忠幸様（長崎県行政書士会会長）による乾杯



松田信哉様（長崎県司法書士会副会長）による万歳三唱

各種表彰受賞者名簿

日本土地家屋調査士会連合会顕彰規程第4条

針^{はり} 本^{もと} 久^{ひさ} 則^{のり} (長崎支部)

日本土地家屋調査士会連合会 九州ブロック協議会

顕彰規程第4条5項 (土地家屋調査士として業務従事40年以上)

井^い 手^て 義^{よし} 和^{かず} (長崎支部)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第3条1項 (土地家屋調査士として業務従事20年以上)

垣^{かき} 内^{うち} 敏^{とし} 彦^{ひこ} (長崎支部)

山^{やま} 中^{なか} 八^{はち} 郎^{ろう} (長崎支部)

坂^{さか} 本^{もと} 孝^{こう} 二^じ (大村支部)

酒^{さか} 井^い 久^{ひさ} 幸^{ゆき} (諫早支部)

真^ま 崎^{さき} 文^{ふみ} 明^{あき} (諫早支部)

山^{やま} 下^{した} 丈^{たけ} 雄^お (諫早支部)

島^{しま} 峯^{みね} 由^ゆ 美^み 子^こ (島原支部)

横^{よこ} 田^た 耕^{こう} 詞^じ (島原支部)

杉^{すぎ} 山^{やま} 末^{すえ} 嗣^{つぐ} (佐世保支部)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第5条 感謝状 (本会役員退任 理事、監事)

池^{いけ} 田^だ 悦^{えつ} 郎^{ろう} (諫早支部)

坪^{つぼ} 井^い 邦^{くに} 幸^{ゆき} (佐世保支部)

川^{かわ} 尻^{しり} 修^{しゅう} 治^じ (平戸支部)

秋^{あき} 寄^{よせ} 良^{よし} 實^み (大村支部)

山^{やま} 下^{した} 賢^{けん} 一^{いち} (五島支部)

大^{おお} 島^{しま} 雅^{まさ} 幸^{ゆき} (佐世保支部)

長^{なが} 嶋^{しま} 雄^{ゆう} 二^じ (壱岐支部)

松^{まつ} 竹^{たけ} 雪^{ゆき} 和^{かず} (長崎支部)

内^{うち} 野^の 義^{よし} 之^{ゆき} (佐世保支部)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第4条2項 (補助者として20年以上勤務)

森^{もり} 鈴^{すず} 子^こ (森三五郎事務所)

田^た 中^{なか} 悦^{えつ} 子^こ (藤田敏夫事務所)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第4条2項 (補助者として15年以上勤務)

柴^{しば} 田^た 卓^{たく} 也^や (藤田敏夫事務所)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第4条2項 (補助者として10年以上勤務)

山^{やま} 下^{した} とよ子^こ (森三五郎事務所)

長崎県土地家屋調査士会慶弔慰規程第4条2項 (補助者として5年以上勤務)

森^{もり} 菜^な 津^つ 美^み (森三五郎事務所)

中^{なか} 村^{むら} 隆^{たか} 寛^{ひろ} (森三五郎事務所)

野^の 中^{なか} 竜^{たつ} 也^や (森三五郎事務所)

日本土地家屋調査士会連合会顕彰規程第6条

佐^さ 藤^{とう} 和^{かず} 美^み (本会事務局職員)



会 長 挨拶

会 長 針 本 久 則

皆様、こんにちは。総会のご案内を差し上げましたところ、多数ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。高いところからではございますが、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、長崎県土地家屋調査士会平成26年度の定時総会を開催するにあたり、長崎地方法務局局长三浦博文様、長崎県総務部次長池井大仙様、日本土地家屋調査士会連合会副会長宮嶋泰様はじめ、御来賓の方々には、公務ご多忙の中ご臨席を賜りまして誠に有難うございます。日頃より私どもの長崎県土地家屋調査士会並びに会員に対して、ご指導ご鞭撻を賜り衷心より御礼申し上げます。また、会員の皆様には、常日頃から本会の会務運営に対しご理解とご協力を頂き、今場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、皆様御承知のように「東日本大震災」から3月11日で3年余りが経過を致しました。しかしながら、災害は我が国においては避けることができないものであります。当県におきましても平成3年の雲仙普賢岳噴火災害は、記憶に新しいものであります。

私たちの業務は、大規模災害後の復興を進めるためには、欠かすことができない役割と考えております。このことを踏まえ、昨年は長崎県と災害復興支援協定を締結し、今年3月27日には長崎市と協定を締結致し

ました。この協定は大規模災害が発生した際に、家屋の被害認定調査や不動産登記、土地の境界問題の相談所を開設するものであり、災害後の復興を進めていく際には欠かすことができないと考えております。長崎市に続き、現在は諫早市と協定締結に向けて協議を行っており、その後も県下に広げてゆきたいと思っております。

さて、昨年は第2回の研修会により、離島支部に対してweb研修を実施しました。web研修により、離島支部の出席率の向上に効果があります。全体の研修会の出席率は横ばい状況であります。本会におきましても時代に合った時代に沿った研修会を実施していきますのでぜひ皆様の出席のほどをよろしくお願い致します。

また、日調連主催の「全国一斉不動産表示登記の無料相談会」や長崎地方法務局主催の「法務局休日無料相談会」をはじめ、「境界トラブル無料相談会」等に於きましても会員の皆様にはご協力を頂き誠に有難うございます。今年度も昨年同様実施するとの通知がきておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、本日表彰を受賞される皆様、おめでとうございます。受賞された皆様方が今後ますます活躍されますことをご期待申し上げますとともに、本日もご出席の皆様方のご発展とご健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



祝 辞

長崎地方法務局長 三 浦 博 文

本日ここに、平成26年度の長崎県土地家屋調査士会の定時総会が、盛大に開催されるに当たりまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。まず、初めに、長崎県土地家屋調査士会並びに会員の皆様方には、平素から表示に関する登記制度を始めとする法務行政の適正・円滑な運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして、心から御礼申し上げます。

また、ただいま、多年にわたり土地家屋調査士会の発展に寄与された皆様方が、日本土地家屋調査士会連合会長並びに長崎県土地家屋調査士会長からの表彰を受けられましたが、受賞された皆様方の今日までのご労苦とご功績に対し、敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに今後の一層のご活躍を祈念致します。

さて、本日はせっかくの機会でありますので、最近の法務行政をめぐる情勢について申し上げ、皆様のご参考に供したいと思います。

まず始めに、登記所備付地図作成作業について、でございます。平成15年6月に内閣の都市再生本部において「民活と各省連携による地籍整備の推進」の方針が打ち出されているところ、昨年6月においても「経済財政運営と改革の基本方針」に改めて地籍整備の推進が盛り込まれる等、登記所備付地図の整備の重要性は広く認知されており、また国民の期待も大きいことから、当局においても平成17年度から、積極的に取り組んでいるところでございます。本年度は、佐世保市万徳町地区の0.328平方キ

ロメートル、917筆について、2年目作業となる登記所備付地図作成作業を実施しております。また、佐世保市松浦町地区において1年目作業である基準点設置作業を実施する予定でございます。この地図作成作業は、皆様方が会員になっておられます公共嘱託登記土地家屋調査士協会等にご協力いただいておりますところですが、作業を円滑に進めていくためにも、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

次に、筆界特定制度について、でございます。平成18年1月20日の制度発足以降、当局では昨年度末までに197申請373手続が申請され、このうち102申請176手続について特定を行ったところでございます。筆界特定制度については、適正かつ迅速に筆界が特定される手続として国民の皆様からの期待が高く、今後もその重要性は増していくものと思われまふ。本制度の運用にあたっては、筆界調査委員に任命させていただいた貴会の土地家屋調査士31名の方々の高度な専門的知識や豊富な経験に負うところが大きいものであり、皆様方のご尽力に対して、厚く感謝申し上げます。

また、土地の境界に関する国民の意識が高まる中で、当局においても本制度が国民からの信頼と満足を得られるものとなるよう努めて参りますので、皆様方にも筆界調査委員としてのみならず筆界特定の申請手続の代理人としても、一層活躍くださるよう期待しております。

次に、登記のオンライン申請の利用促進

について、でございます。昨年6月、新たなIT戦略として「世界最先端IT国家創造宣言」が閣議決定され、「公共サービスがワンストップで誰でもどこでもいつでも受けられる社会」を実現するため、オンライン手続の利便性向上にむけた取組を実施し、より便利で利用者負担の少ない行政サービスの提供を実現することとされました。これに基づき、本年4月1日、平成26年度以降の新たな政府の計画として、「オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針」が、各府省情報化統括責任者連絡会議において決定され、法務局関係では、不動産登記の申請を始めとした登記関係の5手続が改善促進手続として位置づけられました。

これまでも、法務局では皆様方土地家屋調査士会を始めとした関係団体に協力をお願いしつつ、オンライン申請の利用促進に取り組んできましたが、今後も引き続き、オンライン申請の利便性の向上とオンライン利用の拡充・定着に向けて取り組んでまいります。

その一つとしまして、本年6月23日からオンラインにより諫早支局に交付請求した登記事項証明書等を、大村市役所内の法務局証明サービスセンターにおいて受け取ることができる「センター交付方式」の取扱いを開始致します。この方式は、請求者の利便性の向上につながるものであり、当局においても業務が適正・円滑に実施できるよう準備を進めているところですので、土地家屋調査士の皆様方におかれましては、利用者としてオンライン手続の改善のための意見・要望等をお聞かせ頂きますとともに、オンライン申請の利用促進について、今後とも特段のご配慮とご協力を頂きますようお願い致します。

最後に、「全国一斉！法務局休日相談所」について、でございます。昨年10月6日に、全国の法務局で「全国一斉！法務局休日相

談所」を開設致しました。当局においても、皆様方長崎県土地家屋調査士会を始め各種団体のご協力を頂いて、本局と管内すべての支局の8会場で開設し、合計で147名の方々から183件の相談を受けることができました。さらに、昨年11月24日には、平成24年度に引き続いて貴会にご協力いただき、長崎市・諫早市及び佐世保市の3会場において「境界トラブル相談所」を開設したところ、合計で49名の方々から36件の相談が寄せられました。相談に来られた方々を対象に実施したアンケートでも非常に高い評価を得られましたが、皆様方のお力添えがあったのと厚く御礼申し上げます。本年度も、国民の皆様の要望に応え、行政サービスの充実を図るため、10月5日に「全国一斉！法務局休日相談所」を全庁において開設することにしており、また、境界トラブル相談所につきましても、本年度は福岡法務局ブロック管内統一日での明年2月頃の開催に向けて準備を進めているところでございます。会員の皆様におかれましては、引き続き法務局が開催する休日相談所等にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上法務局をめぐる情勢の一端について申し述べましたが、法務局におきましては国民の信頼と期待に応える法務行政を実現することで地域社会へ貢献していくため、今後とも土地家屋調査士の皆様及び長崎県土地家屋調査士会のご理解とご協力をいただきながらより充実した登記制度及び土地家屋調査士制度となりますように向けて努力して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

結びにあたり、長崎県土地家屋調査士会の益々のご発展と、会員及び御来賓の皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしまして私の祝辞とさせていただきます。



祝 辞

日本土地家屋調査士会連合会会長 林 千 年

本日ここに、長崎地方法務局長三浦局長を始め、多くの御来賓をお迎えし、長崎県土地家屋調査士会平成26年度定時総会が盛会に開催されましたことに、まずもってお慶びとお祝いを申し上げます。また、日頃から針本会長を初めとして、役員の皆様、そして会員の皆様には日本土地家屋調査士会連合会の会務運営につきまして、ご理解・ご協力をいただいておりますこと誠に心強く感謝を申し上げます。

新執行部となって早1年が過ぎますが、平成25年度の連合会の事業方針大綱を基本に活動を重ね、概ね初期の目標を達成できたと考えております。この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

土地家屋調査士制度において、今日的な課題として取り上げるならば、それは、「土地家屋調査士が土地境界の専門家として社会から認知を得て、その地位を確立し、社会的使命を果たすことに尽きる」と考えております。そのための戦力的ツールとしているのが「境界紛争ゼロ宣言」を社会全体に発信すること、「日常の業務成果を活用した地図作り」に参画することであり、これを強力に推し進めていかなければなりません。

平成26年秋に、シンポジウムを開催しようとしていますのも、その一環でありますし、平成25年度の事業として、今年の3月末に「土地家屋調査士白書2014」を発刊さ

せて頂きましたのも、それらを推進する上での基礎資料と位置付けております。

また、先ごろ、各府省情報化統括責任者連絡会議から、オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針が示されましたが、これまで、連合会が要望してきました原本提示や添付書類提出の省略又はオンラインによる提出等の「オンライン手続に係る負担軽減」策が盛り込まれており、より一層完全オンライン化に向けた取組を強化して参ります。

さらに、国土調査法第19条第5項の指定申請の関係では、国土交通省 土地・建設産業局長から本年3月12日付で発信された「民間事業者等の測量成果を活用した地籍整備の推進について」の中で基準点測量の一環として、認定登記基準点を用いてよいことの位置づけがされるとともに、地積更正登記が条件付けられたことから、土地家屋調査士が、日常業務の成果を活用した地図作りに参画する道が大きく拓かれたと考えております。

他方、近年全国的に業務量の減少が問題視されておりますが、これは少子高齢化、人口の都市部への一極集中が大きな要因であると考えられます。これについても、発想を転換すれば、業務領域の拡大につながる場面もあると考えております。例えば、土地所有者の高齢化による境界不明の多発、外国人による基地周辺地域や、水源地であ

る山村部等の土地購入、企業による農地所有等の問題は、我々土地家屋調査士が持つ知見と経験を生かすことができる事柄であります。加えて、連合会としては、土地境界に関する法律行為の代理権、業務における調査権等の獲得を目指すべき時期が到来したと捉えております。

また東日本大震災被災地の復興計画等が、さらに具体化・現実化されることに伴い、登記所備付地図の修正作業、境界復元作業の必要性・重要性が高まることが見込まれますところから、引き続き復興支援に取り組んで参ります。会員の皆様におかれましても、引き続きのご協力をお願い致します。土地家屋調査士制度を推進するに当たっては、会員の力を結集して組織力を強化し、土地家屋調査士会の自律機能の向上が肝要

となります。その上からも、会員数の規模に左右されない適切な土地家屋調査士会の運営に資するべく、会員数が150人未満の土地家屋調査士会に対して、研修や広報などへの事業助成を行いたいと考えておりますので、全国の土地家屋調査士会と会員の皆様のご理解をお願い致します。今後の連合会は、土地家屋調査士制度の充実・発展に向けて全力で取り組み、役員一丸となって邁進する覚悟でおります。長崎県土地家屋調査士会並びに会員諸兄の一層のご理解とご提言を賜りたくお願い申し上げます。

結びに当たり、本日もご列席の皆様のご健勝と長崎県土地家屋調査士会の益々のご発展を祈念し、お祝いのことばと致します。



会長就任から4年目を迎えて

会長 針 本 久 則

平成26年度定時総会におきましては、提案した事業、予算についてご承認いただき誠にありがとうございました。

総会から3か月が過ぎようとしています。各部とも承認していただいた事業について、執行しているところであります。

さて、会長として4年目を迎えますが、この3年間を振り返ってみますと、法務局の14条地図作成作業が、この長崎会では平成17年から始まり、約10年の時が経過しようとしております。長崎と佐世保での作成作業ではありますが、その筆界未定も少なくその成果を上げています。また、地籍調査については、平成22年から長崎市と島原市で始まり今年で5年目を迎えています。平成25年からは佐世保市でも始まりました。

14条地図作成作業も地籍調査作業も、これらの業務に従事された会員皆様の誠意ある取り組みにより、その成果が上がっているのは事実であります。今後ますます調査士として係わることは必至であり、会員皆様の技術力、知識力、更に経験を発揮する必要があります。

そのためには、本会や九州ブロック等が開催する研修会に出席し、自己研鑽を重ねる必要があります。しかし残念ながら、本会が行う研修会の出席率は約50%そこそこであり、低い水準で推移しております。

本会としましても、皆様の日常業務の為に必要であると思うものを考え実施していきます。

これからは、出席率の悪い会員に対しては、何らかの対処を取るよう考えていかなければならないと考えています。

今、連合会では「境界紛争ゼロ宣言」を発信し、私たち「土地家屋調査士」の認知度を上げるための施策を行っています。私たちが日常業務で行う境界確認は紛争の事前予防であり、もし紛争が起ころうとしてもADRや筆界特定によって紛争解決できるだけの知識と技術を持っている団体として社会にアピールしていかなければならないものだと思います。その為にもやはり、先ほども述べましたが、本会等が行う研修会に必ず出席し、豊富な知識と高度な技術を身に付けていかなければならないと考えます。

また、本会では、昨年3月に長崎県と「災害復興支援」の協定を結び、今年3月には長崎市、7月には諫早市とも協定を締結いたしました。今後は、他の市町とも締結に向けて、活動していきたいと思っています。

今後とも、本会の事業に対する会員皆様のご協力をお願いし、役員一同一丸となって会務に邁進していきますので、よろしくお願いいたします。



第71回 日調連定時総会 報告書

副会長(財務部長兼務) 前田利孝

本年6月17日(火)から翌18日(水)にかけて、第71回日本土地家屋調査士会連合会定時総会が東京ドームホテルにおいて開催されました。

長崎会からは針本会長と、代議員として前田が出席しました。

開会に先立ち、亡くなられた会員への黙祷がささげられ、倫理綱領唱和、調査士の歌斉唱と続き、来賓入場となりました。来賓入場後、日調連会長挨拶から始まり、20名の会員に奥野信亮法務副大臣より法務大臣表彰が授与されました。

来賓退場、休憩後議事に入り、秋田会の赤塚会長、三重会の神戸会長が議長に指名され審議に入りました。

まず会務報告後、林会長による全体としての報告、各部長の報告があり、議案上程となりました。

第1号議案「平成25年度一般会計収入支出決算報告の件」、「平成25年度特別会計収入支出決算報告の件」、第2号議案「日本土地家屋調査士会連合会特別会計規定の一部改正審議の件」については、それぞれ熱い質疑の応酬ののち承認されました。第2号議案は特定認証局が民間認証局へ移行することと、「大規模災害対策基金特別会計」が「特別会計規定」に規定されていないため、追加するという改正案でした。

第3号議案「平成26年度事業計画案審議の件」について、林会長が事業方針大綱を説明後、各部会及び研究所の担当部長より説明がありました。説明の途中にて定刻となったので、審議を一旦中止し、一日目の総会を終了しました。

解散後、18:30から立食による懇親会が始まりました。国会開催中であるにも関わらず多数の国会議員が駆けつけ、テレビでしか見ない方々の生の声を聞くことができましたが、乾杯前の挨拶は30分以上続き、その間おあずけ状態となりました。午後8時過ぎに中締めとなり、九州ブロックは一団となって2次会へと繰り出しました。

総会2日目は9:30から第3号議案の事業計画案の説明の続きから再開し、続けて第4号議案「平成26年度一般会計収入支出決算予算案審議の件」、「平成26年度特別会計収入支出予算案審議の件」の説明がなされ、質疑応答に入りました。事前質問は60件にものぼり、その内容は会員減少に対する対策や業務開拓に関するもの、認定調査士の活用方法、隣接土地所有者不明の場合の自治体からの情報提供、93条報告書の書式の変更と、その制定の目的との齟齬に関する問題など多岐にわたり、連合会の課題の多さを感じました。非常に重要な質疑が続きましたが、時間に限りがあり、最終的に第3号議案、第4号議案は承認されました。

総会は定刻の12:00に全ての議案が承認され、無事終了しました。本総会は、我々土地家屋調査士の未来を担うものであり、半日ずつの2日間では到底協議しきれないことを痛感しました。また今年の総会は役員改選の年であり、出席者の関心は選挙の比重が高かったように感じましたが、今年は全国から各土地家屋調査士会を代表して出席されている会長・代議員は、その未来の重責を担いつつ真剣に議論されていることを痛感しました。



平成26年度 九州ブロック協議会 定時総会 報告書

副会長（センター長兼務） 大久保 昌 幸

日 時：平成26年6月6日(金)～7日(土)

場 所：博多都ホテル

出席者：針本会長、

大久保副会長（代議員）、

前田副会長（代議員）

休憩後、各ブロック（中部ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック）協議会会長の挨拶、桐栄サービスで取り扱う各種保険の説明がなされた。

続いて、連合会から会務報告として宮嶋泰連合会副会長（大分会長）、児玉勝平常任理事（宮崎会）、山本幸伸理事（福岡会）よりそれぞれの担当部門に付いての報告がなされた。

休憩の後、懇親会が催された。

第一日目

総会セレモニーは、午後2時から福岡会上村徹志総務部長の進行により、九州ブロック協議会草賀裕一副会長（福岡会長）の先導で福岡法務局長根村良和様をはじめ来賓の方々が入場された。

日本土地家屋調査士会連合会からは、林千年会長が来賓として出席された。

草賀裕一副会長の開会の挨拶、九州ブロック協議会谷口正美会長（鹿児島会長）の挨拶の後、下記の来賓の方々から祝辞を頂いた。

来賓祝辞

福岡地方法務局長 根村 良和 様

日本土地家屋調査士会連合会 会長

林 千年 様

引き続き、表彰者の報告、祝電披露があった。草賀副会長先導による来賓の方々の退場時には大きな拍手をもって見送った。

第二日目

午前9時から、福岡会の田崎実副会長を議長に選出し、福崎修一九州ブロック協議会事務局長（鹿児島会副会長）から会務報告を受け、続いて下記事案について審議した。

・第1号議案

平成25年度決算報告（監査報告）

並びに剰余金処分案 承認の件

・第2号議案

平成26年度事業計画案審議の件

・第3号議案

平成26年度予算案審議の件

第1号議案、第2号議案、第3号議案は原案のとおり承認された。

・第4号議案

次期当番会決定の件
大分会に決定。

- ・第5号議案
九州ブロック協議会役員選任の件

役 職	所属会	氏 名
会 長	鹿児島会	谷 口 正 美
副 会 長	福岡会	草 賀 裕 一
監 事	大分会	小手川 保 彦

以上のとおり決定した。

- ・第6号議案 その他の件

以上で、すべての審議が終了し、大分会
宮嶋泰会長の言葉で閉会した。





平成26年度 長崎県土地家屋調査士 政治連盟定時大会開催

幹事長 石橋 一 浩

平成26年3月8日(土)午前、東彼杵町総合会館 大会議室にて定時大会が開催されました。

本大会は、長崎県土地家屋調査士会のご協力により全体研修会と同日開催し、出席会員40名と例年以上のご参加を頂きました。

松本副会長の開会の辞により開会し、相沢会長より相談役 藤田敏夫会員の当選お祝い、昨年度の活動とその感想といった内容にて挨拶がありました。

続いて来賓を代表して長崎県土地家屋調査士会 針本久則会長よりご挨拶を頂き、その後、相談役 藤田敏夫会員より御礼のご挨拶を頂きました。

また、全国土地家屋調査士政治連盟 野田清副幹事長より、全調政連の流れとして、法務局地方移管に関する件、調査士単価に関する件、会員増強に関する件についてのお話を頂きました。

議長は、大村支部 角良一会員を選出し、

議事を進行しました。

平成25年度の会務活動報告は、相談役について、今期より峰忠彦元会長、及び野田清前会長の2名についても委嘱した旨報告しました。

議事は、最初に第1号議案（平成25年度収支決算、監査報告の件）につき審議の後、原案どおり可決承認されております。

続いて第2号議案（平成26年度の運動方針、活動計画案承認の件）、第3号議案（平成26年度収支予算案承認の件）につき審議され、全調政連からの助成金に関する件、未収会費に関する件、及び九州ブロック懇話会への対応に関する件にて質疑応答がなされております。

その後採決に移り、第2号議案、第3号議案とも原案どおり可決承認されました。

最後に、松永副会長の閉会の辞により本大会を無事終了しました。



相沢治典 会長



藤田敏夫 相談役



野田清 全調政連副幹事長



災害復興支援協定締結について

総務部長 角 良 一

総務部では社会貢献への取組みとして、大規模な災害が発生した際、専門資格者たる土地家屋調査士として何をなすべきかを検討するため、平成23年度の事業計画に「災害復興支援協定締結についての検討」を掲げ、その準備を進めてきました。

平田前総務部長のもと、長崎県危機管理課と協議を行い、「不動産登記及び境界問題等の相談所開設」を支援内容とする協定書を平成25年3月28日長崎県と締結しました。

平成26年度は平田部長の後任として私が引き継ぎ、長崎市との締結に向けてその内容を総務部内で協議を重ねました。支援活動の内容については、無償支援であること、市にとって有益な支援であること、市民の役に立つこと、会員の過剰な負担にならないこと、活動内容とその範囲が特定しやすいものなどを念頭に置き、市との協議に臨むことにしました。

長崎市の防災危機管理室の担当者と話し合いを持ち、土地家屋調査士の業務内容、組織、協定書締結の趣旨、他県会の協定実績等を説明し、市側にも市役所内各課の支援要望を聞いていただき、最終的に市の方から、理財部調査班（資産税課）で実施している罹災程度の判定資料作成のための家屋被害調査を、市役所職員と共に行ってもらいたい旨の要望書をいただきました。この家屋被害調査は市の職員に同伴して被災地へ赴き、写真撮影、被災者からの聞き取

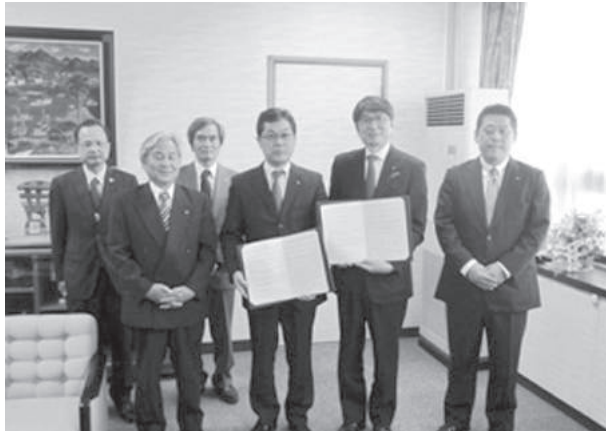
り調査、災害調査票への記録等を行うものです。この調査結果を基に市が罹災程度を判定し、罹災証明書が発行されます。この罹災証明書が被災者の各種税金や廃棄物処理費の減免、金融機関等からの借入、自治体からの見舞金給付等に利用されることとなります。このような経緯の中で長崎市とは

1. 長崎市の要請に基づいて行う家屋被害認定調査に関する事項
2. 不動産登記及び境界問題等の相談所開設に関する事項

を支援内容とする協定書を平成26年3月27日に締結いたしました。

諫早市との協定書締結にあたっては、諫早支部藤田会員、平田広報部長を介して総務課と折衝していただき、協議に入ることが出来ました。長崎市の協定書の内容を基本とすることで協議は進められ、文言の一部修正を加え、平成26年7月11日協定書締結の運びとなりました。

今後は他の市へ範囲を広げていくと共に、支援要請を受けた時の調査士会の行動規程、連絡網等の整備も進めていきたいと考えています。これには支部の協力が必要不可欠であり、まとまり次第支部長会議を通して検討していただきたいと考えていますのでご協力をお願いします。



長崎市協定書調印式



諫早市協定書調印式

70号記念特集 会報70号までを振り返る

会報は今回で第70号をむかえます。現在の会報は昭和50年3月に発行されたものを創刊号とし、以降、年に1回ないし2回のペースで発行されてきました。

本会の会報としては、この他にも昭和33年1月を創刊号としたものもありますが、それについては改めてご紹介する機会があるかと思えます。

今回は、現在の形式になった昭和50年3月の創刊号から、表紙の写真、会報の主な記事や発行当時の出来事などをご紹介します。

懐かしい会報もあるかと思えますので、ぜひ、ご覧ください。

70号記念特集 会報70号までを振り返る 昭和50年～昭和55年

<p>創刊号 昭和50年3月発行</p>  <p>■発行 福田勝見 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 研修資料 旧台帳附属地図の役割と今後の課題</p> <p>■調査士制度の変遷 土地家屋調査士法制定25周年記念式典</p> <p>■世の中の出来事 新幹線岡山～博多間開業 サイゴン陥落、ベトナム戦争終結</p>	<p>第2号 昭和50年11月発行</p>  <p>■発行 上野兼雄 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 研修資料 旧台帳附属地図の役割と今後の課題（後編）</p> <p>■調査士制度の変遷</p> <p>■世の中の出来事 沖縄海洋博覧会開幕 昭和天皇・香淳皇后初の訪米 国鉄最後のSL旅客列車走る</p>
<p>第3号 昭和52年12月発行</p>  <p>■発行 上野兼雄 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 不動産登記法第17条地図作成記念特輯</p> <p>■調査士制度の変遷 不動産登記法施行細則一部改正</p> <p>■世の中の出来事 青酸コーラ無差別殺人事件 王貞治が世界新記録756号本塁打 日本赤軍による日本航空ハイジャック事件</p>	<p>第4号 昭和53年11月発行</p>  <p>■発行 上野兼雄 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 上野兼雄氏法務大臣表彰 53年度定時総会議事録抄</p> <p>■調査士制度の変遷 土地家屋調査士法一部改正 仮登記担保契約に関する法律</p> <p>■世の中の出来事 日中平和友好条約調印 新東京国際空港開港 英国で世界初の試験管ベビー誕生</p>
<p>第5号 昭和54年9月発行</p>  <p>■発行 百武藩一 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 九州各会の年計報告</p> <p>■調査士制度の変遷 土地家屋調査士法一部改正 不動産登記記載例について</p> <p>■世の中の出来事 元号法制定 インベーダーゲームが子供たちの間で大流行</p>	<p>第6号 昭和55年1月発行</p>  <p>■発行 百武藩一 会長 編集 企画部</p> <p>■主な記事 公共嘱託登記委員会から活動と将来性</p> <p>■調査士制度の変遷 土地家屋調査士法制定30周年記念式典</p> <p>■世の中の出来事 一億円取得事件 大平正芳首相が急死 初の衆参同日選挙で自民党圧勝</p>

70号記念特集 会報70号までを振り返る 昭和55年～昭和58年

第7号 昭和55年4月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 企画部
- 主な記事
業務研究 現場に二既知点のみが残っておりしかもその点に機械が据えられない場合の復元について
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
モスクワ五輪開幕
富士山落石事故

第8号 昭和55年10月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
出張報告
百武藩一氏法務大臣表彰
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
ジョンレノン射殺される
イラン・イラク戦争勃発

第9号 昭和56年1月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
研修資料 調査測量実施要領
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法制定30周年記念座談会
- 世の中の出来事
神戸ポートアイランド博開幕
中国残留孤児来日
ローマ法王初来日

第10号 昭和56年7月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
業務研修 判例からみた境界1
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
スペースシャトル初飛行
英国皇太子結婚

第11号 昭和56年12月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
業務研修 判例からみた境界2
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
北炭夕張炭鉱ガス惨事

第12号 昭和57年2月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
業務研修 判例からみた境界3
事務局盗難被害報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
ホテルニュージャパン火災
日航機逆噴射墜落

第13号 昭和57年10月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
陣野辰見氏法務大臣表彰
7.23長崎大水害
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
東北・上越新幹線開業
長崎に集中豪雨

第14号 昭和58年3月発行



- 発行
百武藩一 会長
編集 広報部
- 主な記事
境界紛争と実地調査書の将来像
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
横浜浮浪者襲撃事件
東京ディズニーランド開園
三宅島大噴火

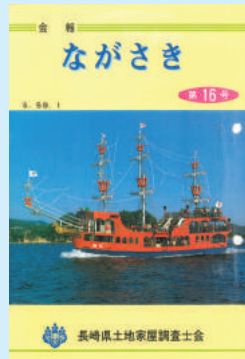
70号記念特集 会報70号までを振り返る 昭和58年～昭和61年

第15号 昭和58年 8月発行



- 発行
陣野辰見 会長
編集 広報部
- 主な記事
九州各会報酬額関係資料
- 調査士制度の変遷
建物の区分所有等に関する法律
及び不動産登記法の一部改正
- 世の中の出来事
参議院、比例代表制による選挙
大韓航空機撃墜事件

第16号 昭和59年 1月発行



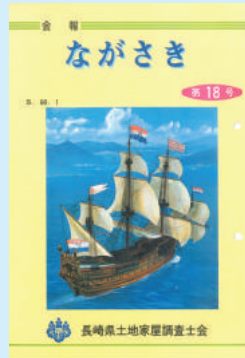
- 発行
陣野辰見 会長
編集 広報部
- 主な記事
上野兼雄氏黄綬褒章受章
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
平均寿命世界一に
グリーコ・森永事件

第17号 昭和59年 8月発行



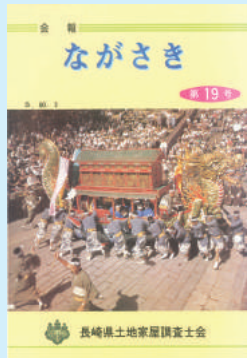
- 発行
陣野辰見 会長
編集 広報部
- 主な記事
佐世保支部提供 区分所有法の
改正に伴う研修資料
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
臨時教育審議会設置
新紙幣発行

第18号 昭和60年 1月発行



- 発行
陣野辰見 会長
編集 広報部
- 主な記事
福岡会提供研修資料 新法に
よる増築により区分建物と
なった場合の登記申請書式例
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
日本最初のエイズ患者認定
NTTとJTが民営企業として発足

第19号 昭和60年 3月発行



- 発行
陣野辰見 会長
編集 広報部
- 主な記事
任期を振り返って
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士倫理綱領制定
- 世の中の出来事
国際科学技術博覧会開幕
ソ連、カザフスタンで核実験

第20号 昭和60年 8月発行



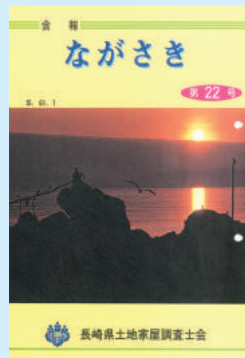
- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
粒崎喜代市氏法務大臣表彰
- 調査士制度の変遷
電子情報処理組織による登記
事務の円滑化のための措置等
に関する法律
- 世の中の出来事
男女雇用機会均等法が成立
日航ジャンボが御巣鷹山に墜落
プラザ合意

第21号 昭和60年11月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
座談会
- 調査士制度の変遷
登記特別会計法
- 世の中の出来事
阪神タイガース21年ぶり優勝
過激派による国鉄同時多発
ゲリラ事件

第22号 昭和61年 1月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
古文書にみる土地丈量について
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法制定35周年
会館落成記念式典
- 世の中の出来事
中野富士見中でいじめ自殺事件
スペースシャトル
チャレンジャー爆発

70号記念特集 会報70号までを振り返る 昭和61年～平成元年

第23号 昭和61年7月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
陣野辰見氏黄綬褒章受章
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
ソ連チェルノブイリ原発事故
土井たか子日本初の女性党首

第24号 昭和61年10月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
座談会
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
三原山噴火、全島民に避難命令

第25号 昭和62年1月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
韓国旅行・第3回ソフトボール
大会報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
NTT株が上場、財テクブーム
国鉄が分割、民営化される

第26号 昭和62年8月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
公嘱協会だより
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
NY株式市場が大暴落
金賢姫による大韓航空機爆破
事件発生

第27号 昭和63年1月発行



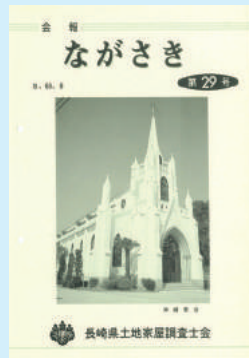
- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
百武藩一氏黄綬褒章受章
- 調査士制度の変遷
東京法務局板橋出張所において
登記簿の最初のコンピュータ化
稼働
- 世の中の出来事
ソ連、ペレストロイカ開始
青函トンネル開業

第28号 昭和63年3月発行



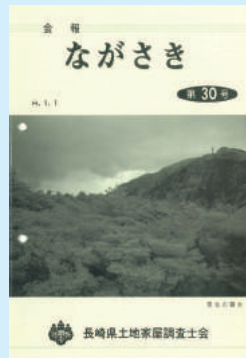
- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
研修会報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
瀬戸大橋開通
ソ連、ジュネーブ合意
潜水艦なだしおと漁船衝突

第29号 昭和63年8月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
登記行政のコンピュータ化に
伴う影響
里道の付替と換地図による
現地復元
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
リクルート疑惑事件

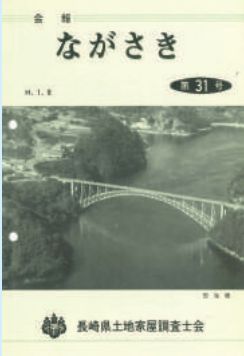
第30号 平成元年1月発行



- 発行
粒崎喜代市 会長
編集 広報部
- 主な記事
証紙の貼付について
北陸金沢・能登半島一周旅行
報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
昭和天皇崩御
平成と改元

70号記念特集 会報70号までを振り返る 平成元年～平成5年

第31号 平成元年 8月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
会長就任挨拶
上野兼雄氏勲五等瑞宝章受章

■調査士制度の変遷

■世の中の出来事
消費税施行（3%）
大納会で日経平均株価の終値最高値を付ける

長崎県土地家屋調査士会

第32号 平成2年 1月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
報酬額改正研修会報告
瀬戸内旅行報告

■調査士制度の変遷
土地家屋調査士制度40周年記念式典

■世の中の出来事
大学入学センター試験スタート
国際花と緑の博覧会開幕

長崎県土地家屋調査士会

第33号 平成2年 8月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

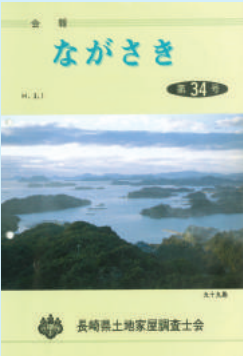
■主な記事
法制定40周年を顧みて
厚生部事業ゴルフ大会報告

■調査士制度の変遷

■世の中の出来事
今上天皇の即位の礼・大嘗祭が
举行される
東西ドイツ統一

長崎県土地家屋調査士会

第34号 平成3年 1月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
沖縄親睦旅行報告
ある支部長の悩み-不当誘致
問題 など

■調査士制度の変遷
報酬体系変更、改正報酬額表

■世の中の出来事
湾岸戦争勃発
大手証券会社の巨額損失補填
問題

長崎県土地家屋調査士会

第35号 平成3年 7月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
止んでくれ雲仙噴火
ヨーロッパ登記制度の勉強旅行

■調査士制度の変遷

■世の中の出来事
ソビエト連邦崩壊
ゴルバチョフ大統領辞任
雲仙普賢岳で大火砕流発生

長崎県土地家屋調査士会

第36号 平成4年 1月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
南紀州めぐり親睦旅行報告
平戸市地図混乱地域基準点設置
作業について

■調査士制度の変遷

■世の中の出来事
東京佐川急便事件
PKO協力法案成立

長崎県土地家屋調査士会

第37号 平成4年 7月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
地籍調査基準点標識保全連絡
協議会報告
雲仙普賢岳噴火災害対策に
関する要望

■調査士制度の変遷

■世の中の出来事
天皇、初の中国訪問
学校週5日制スタート

長崎県土地家屋調査士会

第38号 平成5年 1月発行



■発行
長郷四万男 会長
編集 広報部

■主な記事
西日本土地家屋調査士会業務
情報交換会報告
地目変更四方山話

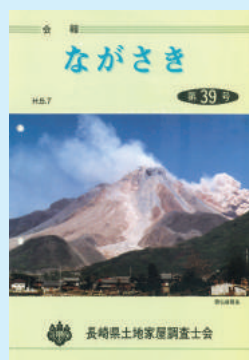
■調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
不動産登記法の一部改正

■世の中の出来事
皇太子徳仁親王と小和田雅子
のご成婚

長崎県土地家屋調査士会

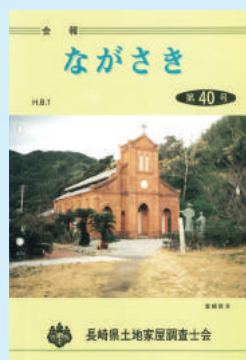
70号記念特集 会報70号までを振り返る 平成5年～平成9年

第39号 平成5年7月発行



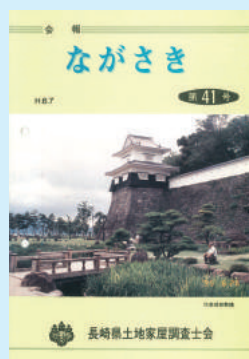
- 発行
長郷四万男 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
総会の反省
- 調査士制度の変遷
不動産登記法施行細則一部改正
- 世の中の出来事
北海道南西沖地震
非自民・非共産連立政権である
細川内閣が発足

第40号 平成6年1月発行



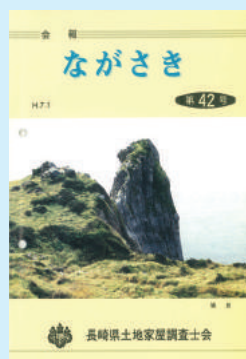
- 発行
長郷四万男 会長
編集 広報部
- 主な記事
長崎会業務アンケート調査報告
- 調査士制度の変遷
全国土地家屋調査士松本大会
- 世の中の出来事
郵便料金を葉書50円、封書80円
に値上げ
自社と連立政権である村山内閣
発足

第41号 平成6年7月発行



- 発行
長郷四万男 会長
編集 広報部
- 主な記事
椎山俊美氏法務大臣表彰
各会年計表報告
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士制度発祥の
地碑建立、序幕
- 世の中の出来事
大江健三郎がノーベル文学賞
ナリタブライアン三冠馬に

第42号 平成7年1月発行



- 発行
長郷四万男 会長
編集 広報部
- 主な記事
境界標設置キャンペーン
境界鑑定研究講座受講者に聞く
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士の処理件数及び
報酬額の報告の廃止
- 世の中の出来事
阪神・淡路大震災
地下鉄サリン事件発生

第43号 平成7年7月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
新役員挨拶
百武藩一氏勲五等瑞宝章受章
登記所統廃合
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士制度制定45周年
記念式典
- 世の中の出来事
九州自動車道全線開通
新食糧法が施行、米の販売が
原則自由化される

第44号 平成8年1月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
熊本会・宮崎会館視察報告
佐世保支部17条地図作製報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
薬害エイズ裁判、ミドリ十字が
謝罪
羽生善治が史上初、七冠独占

第45号 平成8年7月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
九B協議会長崎で開催
非調査士実態調査報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
世界初のクローン羊ドリーが
生まれる
在ペルー日本大使公邸占拠事件

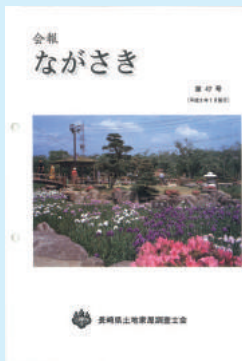
第46号 平成9年1月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
九B協議会担当者会同報告
支部活動報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
消費税改定（5%）
アイヌ文化振興法の成立
神戸連続児童殺傷事件

70号記念特集 会報70号までを振り返る 平成9年～平成13年

第47号 平成9年7月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
非調査士実態調査報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
臓器移植法成立
介護保険法制定
山一証券破綻

第48号 平成10年1月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
九B協議会担当者会同報告
黒部アルペンルート北陸親睦旅行報告
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士の補助者の員数制限規定の廃止
- 世の中の出来事
長野オリンピック開幕
郵便番号が5桁から7桁に

第49号 平成10年7月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
網紀事件概要報告
国民年金基金案内
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
北朝鮮が弾道ミサイルテポドン
を日本列島沖に発射
金融再生関連法の成立

第50号 平成11年1月発行



- 発行
池田義徳 会長
編集 広報部
- 主な記事
九B協議会担当者会同報告
異色調査士紹介
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士試験問題の公表、
持ち帰りが認められる
- 世の中の出来事
情報公開法、周辺事態法の成立
国旗国歌法、通信傍受法の成立

第51号 平成11年7月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員挨拶
共済会保険制度案内
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
茨城県東海村でJCO臨界事故
地域振興券（2万円商品券）
支給

第52号 平成12年1月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
伊能ウォーク、伊能忠敬紹介
- 調査士制度の変遷
地籍調査事業（外注型）への
土地家屋調査士の参画
第5次国土調査事業十箇年計画
- 世の中の出来事
犯罪被害者法成立
九州・沖縄サミット

第53号 平成12年9月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
-50周年事業- 伊能ウォーク、
伊能図展レポート
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士制度制定50周年
記念式典
- 世の中の出来事
雪印乳業集団食中毒事件
少年法改正案成立

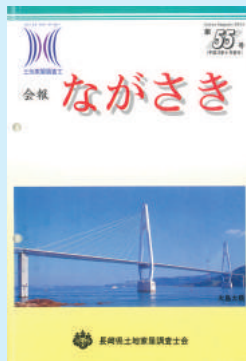
第54号 平成13年1月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
地籍調査促進についてのお知らせ
九B協議会担当者会同報告
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
小泉内閣の発足
大阪府池田小学校児童殺傷事件

70号記念特集 会報70号までを振り返る 平成13年～平成18年

第55号 平成13年9月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
政治連盟設立
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士制度発祥の地祥
移設
- 世の中の出来事
アメリカ同時多発テロ事件発生
皇太子夫妻の長女・愛子内親王
誕生

第56号 平成14年8月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
韓国親睦旅行報告
支部だより
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
サッカーWC日韓大会
小泉首相が北朝鮮訪問、
日朝首脳会談

第57号 平成15年8月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
蘇州・上海親睦旅行報告
長郷四万男氏黄綬褒章受章
- 調査士制度の変遷
日本土地家屋調査士会連合会の
民間法人化
- 世の中の出来事
イラク戦争勃発
郵政事業庁が日本郵政公社に
個人情報保護法が成立

第58号 平成16年1月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
調査士の業務広告について
調査士の民事責任について
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
鳥インフルエンザ発生
イラク日本人人質事件
佐世保市の小学校で女子児童が
同級生殺害

第59号 平成16年8月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
-九B協議会当番会特集-
定時総会、親睦ゴルフ大会
支部だより
- 調査士制度の変遷
不動産登記法の全部改正
不動産登記令の全部改正
- 世の中の出来事
新潟県中越地震
新札発行

第60号 平成17年3月発行



- 発行
杉山勇 会長
編集 広報部
- 主な記事
-九B協議会当番会特集-
担当者会同、新人研修会
親子三代合同事務所誕生
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
- 世の中の出来事
愛知県で愛・地球博覧会開幕
兵庫県でJR福知山線脱線事故

第61号 平成17年9月発行



- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
粒崎喜代市氏旭日双光章受賞
- 調査士制度の変遷
不動産登記のオンライン申請
制度の運用開始
- 世の中の出来事
郵政解散による衆議院総選挙で
自民党大勝
みずほ証券誤発注

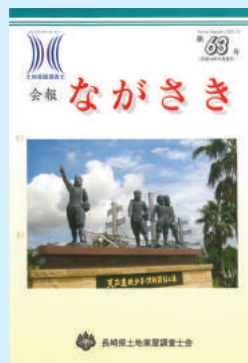
第62号 平成18年10月発行



- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
戸籍謄本等職務上請求書用紙の
取扱いについて
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法一部改正
民間紛争解決手続代理関係業務
に係る特別研修の開始
- 世の中の出来事
ライブドアショック
北朝鮮が日本海にミサイル発射
秋篠宮家の長男・悠仁親王誕生

70号記念特集 会報70号までを振り返る 平成19年～平成25年

第63号 平成19年10月発行



- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
電子証明書取得までの流れ
オンラインによる乙号申請
- 調査士制度の変遷
登記特別会計法廃止施行
- 世の中の出来事
能登半島沖地震が発生
参議院通常選挙で民主党大勝
新潟県中越沖地震が発生

第64号 平成20年10月発行



- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
相沢治典氏法務大臣表彰
戸籍謄本等職務上請求書取扱
管理規程一部改正
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士法施行規則の
一部改正
- 世の中の出来事
イージス艦あたご衝突事件
秋葉原通り魔事件が発生
北海道・洞爺湖サミットを開催

第65号 平成21年9月発行



- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
支部日より
- 調査士制度の変遷
土地家屋調査士専門職能継続
学習制度 (CPD) の開始
- 世の中の出来事
新型インフルエンザ感染広がる
裁判員制度が始まる
衆議院総選挙で民主党大勝

第66号 平成22年9月発行



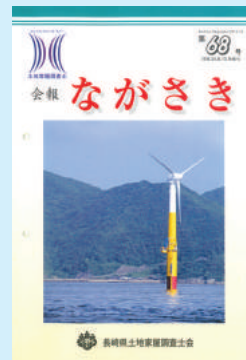
- 発行
相沢治典 会長
編集 広報部
- 主な記事
高校生ものづくりコンテスト
開催
- 調査士制度の変遷
官民境界基本調査 (地籍調査)
事業への参画
- 世の中の出来事
九州南部で口蹄疫の感染広がる
社会民主党が連立政権離脱
尖閣諸島中国漁船衝突事件

第67号 平成23年9月発行



- 発行
針本久則 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
本会主催新人研修会報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
東北地方太平洋沖地震、東日本
大震災、福島第一原発事故
九州新幹線全線開業

第68号 平成24年10月発行



- 発行
針本久則 会長
編集 広報部
- 主な記事
共済金特別積立金精算報告
出前授業報告
- 調査士制度の変遷
司法書士法施行規則及び調査士
法施行規則の一部改正
- 世の中の出来事
東京スカイツリーが開業
山中伸弥京都大学教授が
ノーベル生理学・医学賞受賞
衆議院総選挙で自民党大勝

第69号 平成25年9月発行



- 発行
針本久則 会長
編集 広報部
- 主な記事
役員就任挨拶
表示登記無料相談会報告
- 調査士制度の変遷
- 世の中の出来事
アルジェリア人質拘束事件
富士山が世界文化遺産に
伊豆大島で土石流災害

< 長崎支部だより >

・市民相談【登記相談会】

長崎支部は、毎週火曜日（午後1時～4時）に、長崎市役所本館にて、専門相談：登記相談会を実施しています。

支部会員の一人が出席し、一年に1・2回担当します。

相談件数は、多いとは言えませんが、相談日につき1件・2件程は、市民の皆様にご利用いただいています。

我々土地家屋調査士の他に、税理士、弁護士、司法書士、宅地建物取引業協会など様々なブースがあります。

この登記相談会が定着しているせいか、悪天候のせいか、広報活動が足りなかったのか、去る8月3日（日）に行った「全国一斉無料表示登記相談会」での相談件数は0でした。長崎新聞に開催の掲載はしましたが、次回はさらに周知を図る必要があると感じました。



長崎支部役員

長崎支部長 田 川 康

・平成26年度夏季懇親会

去る7月25日（金）に、長崎ココウォーク屋上にて、ビアガーデン懇親会を開催しました。

総勢22名と、若干少なめの参加人数でしたが、天気にも恵まれ、西日にさらされることなく、蚊に刺されることもなく、皆さんの酔いもほどほどに、楽しい会員の交流の場となりました。

ビールを片手に、稲佐山に沈みゆく夕日を眺め、幻想的な景色に酔いしれたのか、ただアルコールに酔いしれたのか、心地よい時を過ごしました。

< 大村支部だより >

○納涼会

7月24日（木）午後6時30分より、「すし処 わかたけ 大村200」に於いて、調査士会大村支部、司法書士会大村支部の会員と補助者を交えて総勢23名で納涼会を開催しました。

前回と前々会は、焼肉でしたので、今年は魚で攻めてみようと思い、握りずし、海鮮料理の食べ放題、飲み放題の2時間30分のコースにしました。

大村支部長 吉 村 光 昭

まず司法書士会川田支部長に乾杯の音頭をとってもらい始まりました。

最初は、握りずし、刺身の盛り合わせなど3品が並べられていました。

上記の3品を完食したら、食べ放題のスタートです。

その後は、1回のオーダーは、メニューから好きなものを1グループ（5名か6名）で、最大、5品、5種類（5×5=25）までとなっていました。

みんなどんどん食べて、飲んで、オーダー、オーダーのあらしです。

魚は平戸から朝、水揚げして直送されたもので新鮮でおいしかったです。

メニューには魚のほかに、ピザ、とりのから揚げ、プリンなどのデザート、コーヒー、飲み物は、生ビール、焼酎、地酒、カクテ

ル、サワーなど盛りだくさん、みんな、飲みすぎ、食べ過ぎ、大満足です。

全員和やかな雰囲気の中、話が弾み、時間の経つのも忘れる程でした。宴が盛り上がる中、わたくし支部長の一本締めで閉会しました。



< 諫早支部だより >

諫早支部会員は8月1日現在、諫早市29名、雲仙市7名の合計36名です。37歳の若手会員から74歳のベテラン会員まで全員男性です。

去る7月11日市内「諫早中央公民館」に於いて26名の参加を得てGPS測量について研修会を行いました。諫早地籍事業は市の総面積321k㎡の内80%の257k㎡が完了しています。いちばん古い地図が飯盛町地域の昭和39年作成の為図根点の亡失も多く、又地積測量図の作成も基本三角点に基づく測量を原則としていますので今後はGPS測量が必要と思われます。

講師は測量機メーカーの方をお願いし、



諫早支部長 高島典之

30分間 室内講義の後、屋外でRTK観測法の実演を受けました。

会員の中には測量機をグループにより所有されている方もいらっしゃいます。GPS測量機が高額な為、今後共同購入等検討しても良いのではと思います。

研修会後は、事業計画にそって納涼懇親会を近くの割烹店で実施しました。乾杯の音頭でスタート。30分程すると「支部長〇〇を注文して良かね！」と元気な問いかけ声とともに予算外の飲み物の追加注文が始まります。「みんなで飲めば怖くない」の精神で大いに盛り上がりました。

< 島原支部だより >

耐震改修で安全・安心の住まいづくりを目的とする住宅フェアが、島原市万町にある「ふれあいホールサンプラザ」で、平成25年11月10日(日)に開催されました。

長崎県、島原市、雲仙市、南島原市、建築士会、建設業界、宅建業界など住宅に関する多くの団体が出展されました。調査士会島原支部も、公嘱協会島原地区と協力しながら出展いたしました。

島原市長、島原振興局長、中村実行委員

島原支部長 中 川 忠 則

長のあいさつではじまり、来賓の丸太くぎうち競争、すのこ板づくりの子ども達に参加するブースは、親子でにぎわいを見せました。耐震実演にも多くの市民の方が興味を示されていました。一方、私達のブースは、客もまばらでした。

子ども達に関心を持ってもらおうと、親を連れてきます。出前授業などを繰り返しながら、現状打破に向けて、チャレンジしたいと考えます。

< 佐世保支部だより >

「伊能忠敬相浦地区測量二百周年記念碑」の建立報告



本年5月9日、「伊能忠敬相浦地区測量二百周年記念碑」の除幕式が、朝長則男佐世保市長はじめ多数の来賓の方々に御臨席頂き盛大に開催されました。

伊能忠敬の測量日誌によると、佐世保市相浦町(建立地付近)に14日間滞在され、日本全国を測量する中で最も滞在された場所でした。文化9年(1812)12月28日、相浦に到着した測量隊は休測し、新年を迎えられます(休測時には江戸へ書状を出し、天測を行う)。また自身は、「七十に近き春にぞ相の浦 九十九島をいきの松原」と詠

佐世保支部長 山 口 賢 一

み、古希を迎えられ、1月4日より相浦港を拠点として南九十九島の島々を測量されました。

伊能忠敬の相浦滞在、そして九十九島の測量から200年を迎えることから、改めてその偉業を顕彰するとともに、地域の歴史や文化を掘り起こし、今後の相浦地区発展の一助になればと、「伊能忠敬研究会」会員である平川定美氏が提案されました。

一昨年、発起人である平川氏、佐世保史談会、相浦地区の自治会や団体を中心として「伊能忠敬相浦地区測量二百年記念之碑設立委員会」を立ち上げました。約2年間、建立地の選定、官公庁との折衝、石碑の文言、広報活動等をそれぞれの委員が分掌し活動してきました。

建立後の委員会では、建立地を地域の方々や子供たちへの歴史教育の場として活用していく事を確認し、5月16日「伊能忠敬相浦地区測量二百周年記念碑設立講演」と題し、約100名のご参加の下、各委員が伊能忠敬、相浦に対する想いを伝えられました。

伊能忠敬相浦地区測量二百年記念之碑設立委員会

発起人 伊能忠敬研究会九州支部会員・
佐世保史談会会員 平川 定美

設立委員会委員長

相浦地区商工振興会会長 村中 弘司

委員 相浦地区連合町内会会長 山口 久雄

委員 シティ不動産代表 坂本陽一郎

委員 長崎県土地家屋調査士会
佐世保支部長 山口 賢一

委員 相浦史談会・
佐世保松浦党研究会々員 澤 正明

委員 佐世保史談会会員 吉田 光久

委員 佐世保史談会会員 中島 眞澄



設立委員会メンバー写真
左から(敬称略)

澤 正 明
吉 田 光 久
平 川 定 美
坂 本 陽 一 郎
村 中 弘 司
山 口 久 雄
山 口 賢 一
中 島 眞 澄

鹿町工業高校での進路相談及び測量部への測量指導

日 時：平成26年7月4日(金)
場 所：県立鹿町工業高校
参加者：<佐世保支部> 山口 賢一
前川 賢一 竹永 智彦
<本 会> 松本 忠寿

鹿町工業高校にて、卒業後の進路相談、長崎県高校生ものづくりコンテストで優勝し九州大会へ出場する測量部への測量指導を行いました。

進路相談では、2月に行った出前授業(本会HP Web会報長崎第4号に寄稿)をきっかけに、卒業後の進路の一つとして

土地家屋調査士事務所への就職を挙げている生徒3人に対し、土地家屋調査士の具体的な業務の説明、測量コンサルタントとの違い、これまでの経験談等を伝えました。また、生徒からの率直な疑問・質問に対して土地家屋調査士業に関わらず、社会人としての立場でアドバイスを行いました。

測量部への測量指導では、7月13日に宮崎県で開催される、九州大会へ向けた今年度2度目の測量指導を行いました。器械据え付けは1分半程、1ミリを競い合っている高校生からの質問に、私たちも測量に対する熱意を感じました。

後日、担当教官より「卒業後、土地家屋調査士の資格取得を目指している生徒がいる」との嬉しいご報告。そして測量部は、九州大会で見事に優勝、11月に秋田県で開催される全国大会への切符を手に入れました！！



開始挨拶

佐世保支部の出前授業、測量指導を受講した生徒が、土地家屋調査士に！！
夢は膨らむ佐世保支部役員一同でした。

P.S. 全国制覇へ向けた測量指導依頼を頂きましたが、何を教えて良いのやら。。



指導状況 1



指導状況 2



終了挨拶

< 五島支部だより >

五島列島は、五島市、新上五島町、小値賀町、佐世保市の4つの行政区に分かれておりますが、五島支部はこのうち五島市である福江島、久賀島、奈留島と、新上五島町である若松島、中通島の合計5つの大きな島からなる2行政区を単位として現在12名の会員が在籍しております。

五島列島の主要の交通機関は高速船とフェリーであります。燃料費の高騰で運賃の

五島支部長 山下賢一

値上げが続き、本会総会及び研修会等へ出席するための交通費の経済的負担や、運行ダイヤの都合上日帰りすることが困難であり宿泊することになってしまうといった時間的負担の2つのハンデがありました。

このため、総会、研修会等の出席率が年々低下し、少しでも出席率を改善するために、本会の対応として会場の変更や金曜日から土曜日への日程変更など考慮していた

だきましたが思った程効果は上がりませんでした。

しかし、平成25年度より離島支部を対象としたWEB配信（USTREAMライブ配信）による研修会が可能となったため、本土へ行くことなく離島支部ごとに研修を受講できるようになりました。

五島支部のWEB研修においては、第1回から第4回までの合計4回の講義を受講してきましたが、当初は動画や音声途切れたり、音割れがあったり聞き取りづらい部分もありましたが、回を重ねる毎に配信状況が改善されてとても受講しやすくなってきました。

また、40パーセント以下であった研修会への出席率も71パーセントと大きく改善することができました。

会員からは、「時間にゆとりができるようになった。」また、「旅費宿泊の負担がなくなり気軽に研修会を受講できるようになり助かる。」といった声を聞くことができたことは

本当にうれしく思っております。

今後、さらにIT技術を利用し研修会だけではなく下五島と上五島間での役員会、支部総会等に活用してゆき、会員の負担軽減につなげて行ければと思っております。

WEB研修の企画を実現していただきました研修部の皆様、本当にありがとうございました。また、毎回研修会の準備に携わってくださっている事務局の職員の皆様、本会の役員及び部員の皆様にも重ねて感謝を申し上げます。



下五島WEB研修



上五島WEB研修



上五島WEB研修



平成26年度 第1回全体研修会報告書

研修部長 船 津 学

平成26年8月29日(金)、東彼杵町の東彼杵総合会館において第1回全体研修会を開催しました。

研修内容は以下の通り

- 1) 「業務で作成する重ね図についての基礎知識」
(長崎県土地家屋調査士会 船津学研修部長)
- 2) 「2014FIG(世界測量者連盟)クアラルンプール大会参加者による報告」
(長崎県土地家屋調査士会 山口賢一会員)
- 3) 「今日から使える士業の為にコミュニケーションマナー講座」
(ホスピタリティー・マナー研究所 松澤萬紀先生)

昨年、北海道から土地家屋調査士の中村先生にお越しいただき、GISに関する講義をしていただき土地家屋調査士の業務、特に重ね図の作成にはGISとの関係が深いと理解いたしました。

そこで重ね図を作成する前提として、基礎的な知識を再確認するための研修をいたしました。また、昨年の中村先生の講義も

長崎県土地家屋調査士会のホームページ上で動画を視聴することができるように準備しています。

2014 FIG(世界測量者連盟)クアラルンプール大会参加者に佐世保支部の山口賢一会員が参加されましたので、他の国の地籍と日本の地籍の違い、『survey』についてやUAVについてなど興味深い報告をしていただきました。地籍に関する考え方をグローバルに捉えて通常の業務へと意識を高めていきたいと思いました。

日本ホスピタリティー・マナー研究所松澤萬紀先生に「今日から使える士業の為にコミュニケーションマナー講座」の内容で講義を行っていただきました。

通常の研修とは違い全員が参加して実際にディスカッションするという形式でした。基本的な名刺の渡し方からコミュニケーションに関する内容までとても興味深い研修となりました。タイトルの通り今日から使えるマナー講座となりました。



山口賢一会員



研修会風景

平成26年度 第2回理事会議事録（要旨）

事 務 局

日 時 平成26年6月27日(金)
午後3時30分～午後4時50分
場 所 長崎県勤労福祉会館
4階第2中会議室

出席者 針本久則会長、大久保昌幸副会長、
前田利孝副会長、角良一常任理事会、
松本忠寿常任理事、船津学常任理事、
平田利之常任理事、嶋隆信常任理事、
前川賢一理事、清水寛之理事、
田代彰理事、川崎勝理事、
横田耕詞理事、樋口賢三監事、
真崎文明監事、内嶋國弘監事

【審議議案等】

報告事項

日調連・九州ブロック協議会 平成26年度定時総会の報告について

議 題

1. 各部事業計画の執行について
2. 調査士会役員選任規則 役員等候補者選任基準表改正案について（総務部）
3. その他

議長：会則第35条第2項により針本久則会長が議長を務める。

議長より、本日の理事会出席状況（理事、監事全員出席）が報告された。

議長より、下記のものが指名及び委嘱された。

議事録署名人：角 良一常任理事、
前川 賢一理事
議事録作成人委嘱：多田事務局長

針本会長挨拶（骨子）

総会で承認された事項を一丸となって遂行して頂きたい。

議長は、平成26年度九州ブロック協議会、日本土地家屋調査士会連合会定時総会の報告について担当役員に報告を求めた。

大久保副会長より、平成26年度九州ブロック協議会定時総会の報告がなされた。

（報告書の頁参照）

次に前田副会長より、日調連の定時総会について報告が行われた。

（報告書の頁参照）



針本久則会長の挨拶

<議 事>

議題1 各部事業計画の執行について

議長は議題1については、各部で協議してその後に発表をしてもらいたいとの発言があった。

(各部毎の協議をおこなう)

議長は議事を再開し、総務部から各部の事業計画執行について説明を求めた。

前川総務部次長より順次下記資料に基づき説明がなされた。

1. 総務部

主たる事業	具体的内容
1. 会則及び諸規程の整備	・会則及び諸規定の検討を行い整備する
2. 災害復興支援協定締結の検討	・県下自治体との協定締結にむけた検討
3. 政治連盟への対応	・三団体協議会開催
4. その他	・諸規定集の発行 ・非土地家屋調査士実態調査への対応

2. 財務部

主たる事業	具体的内容
1. 財務改革の検討	・支部収支予算書決算書の科目及び書式並びに収支運用の検討 ・支出全般の検討
2. 事務局体制の充実	・事務全般の効率化の検討及び実施 ・管理体制の充実
3. 土地家屋調査士国民年金基金及び日調連共済会の取り扱う各種保険の斡旋	・会報「ながさき」への広告掲載 ・新入会員の入会手続き時における加入啓蒙
4. その他	・親睦事業の検討・実施

3. 業務部

主たる事業	具体的内容
1. 「調査・測量実施要領」の追録に伴う調査・研究	・第4号が追録された調査・測量実施要領についての情報収集と分析を行い、これまでの追録を含めどのような形で会則に位置付けるかの検討を行う ・改訂版不動産調査報告書の情報収集と分析を行い会員へ周知するための研修を行う
2. 業務改善に関する企画	・調査・測量実施要領に沿ったサイクルタイムの研究 ・新しい技術を利用した業務の提案
3. オンライン登記申請制度への対応	・新認証局移行に伴う手続きの啓発とサポート ・XML図面への対応

4. 研修部

主たる事業	具体的内容
1. 研修会の実施	・全体研修会 年間4回 ・有料ADR研修会の実施 ・長崎会新人研修会の実施
2. 日調連、他県会、他団体主催の研修会の案内と参加支援	・他県調査士会主催の研修会の案内 ・他団体主催の研修会の案内
3. 日調連主催の土地家屋調査士特別研修への対応	・協力員として受講生の支援
4. 九州ブロック協議会への対応	・新人研修会への対応 ・境界鑑定講座への対応
5. CPD制度への対応	・本会、他県会、支部、公嘱協会等の研修会におけるCPDポイントのホームページ上での管理

6. web研修への対応	<ul style="list-style-type: none"> • 本会研修のweb配信の実施、対応 • 連合会web研修、eラーニングへの対応、案内
7. 土地家屋調査士の業務紹介資料作成	<ul style="list-style-type: none"> • 出前授業等、対外的に業務紹介を行う際の資料作成

5. 広報部

主たる事業	具体的内容
1. 会報の発行	<ul style="list-style-type: none"> • 「会報ながさき」第70号の発行 • 「web会報長崎」第5号の掲載
2. ホームページの利活用推進	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページを対外広報と対内広報の用途に応じた改編を行い、会員の役に立つものとする • 会員のホームページ活用促進を図る
3. 啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> • 各支部の無料相談会、行政庁の主管する市民相談等への支援及び告知 • 各支部の出前授業への支援及び告知 • カレンダーの作成協力 • 図書（地面のボタンのなぞ）の寄贈 • 海拔表示板の設置

6. 社会事業部

主たる事業	具体的内容
1. 地図作成事業に関する事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> • 地図作成事業の範囲拡大における支援 • 各市町村、法務局との協議 • 実績の把握と作業の効率化推進 • 測量業界との連携
2. 筆界特定制度に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> • ADRセンターとの連携
3. 公嘱協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 協議会開催、意見交換により連携を図る

7. 境界問題相談センターながさき

主たる事業	具体的内容
1. センター業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> • センター業務の実施及び運営
2. 研修会の企画・立案	<ul style="list-style-type: none"> • 裁判外紛争解決手続代理業務を中心とした研修会の企画・立案
3. センター業務の検討	<ul style="list-style-type: none"> • 日調連、他会、法務省等の情報を得ながら、今後のセンターながさきの方向性を探る

議長は、議案1について議決をとり、全員賛成し承認された。

議長は、議題2. 調査士会役員選任規則役員等候補者選任基準表改正案について、総務担当役員に説明を求めた。

総務担当役員より、本日の議案から削除して、その他のところで協議をしていただきたい。

議長は、議案から削除し、その他のところで協議することを諮ったところ、全員賛成で承認された。

議長は、議案は終了したので、その他のところで、総務担当役員に説明を求めた。

総務担当役員より説明がなされた。種々の意見が出たが、議長から、引き続き総務で検討してもらいたいということで理事会を終了した。

議長は、以上により本日の理事会を閉会した。



理事会での審議



左から内嶋監事、真崎監事、樋口監事



平成26年度第2回理事会

全国一斉不動産表示登記無料相談会報告

広 報 部

土地家屋調査士法が昭和25年7月31日に制定されたことから、日本土地家屋調査士会連合会は毎年7月31日を「土地家屋調査士の日」と定めております。全国一斉不動産表示登記無料相談会が開催され、長崎県土地家屋調査士会においても平成26年7月26日(土)～8月9日(土)にかけて、長崎・大村・諫早・佐世保の4支部において無料

相談会を開催しました。

相談内容は、境界復元測量費用1件、登記に関すること1件、土地境界1件、遺産相続1件、道路について1件、生活保護・借地借家・土地境界が1件、固定資産税1件、行政その他1件でした。

会員の皆様のご協力誠にありがとうございました。

開催支部	開催日時	開催場所	相談員	相談件数
長崎支部	8月3日(日)	長崎県土地家屋調査士会	田川 康支部長 野田大輔会員 初柴 穰会員 柴田盛義会員 池田 剛会員	0件
大村支部	8月9日(土)	総合福祉会館3階	角 良一会員 山口康俊会員 平澤勝昭会員 宮脇成芳会員 坂本孝二会員 平野旅人会員	0件
諫早支部	7月26日(土)	高城会館	高島典之支部長 松下俊彦会員 西山 薫会員 松永順泰会員 田代 彰会員	2件
		諫早市西諫早公民館	古賀和彦会員 山崎一弘会員 毎隈一也会員 本田将之会員 渡部聖吾会員	
		雲仙市愛野公民館	藤原 靖会員 石橋孝作会員 山下丈雄会員 山下和義会員 上田 篤会員	
佐世保支部	8月3日(日)	男女参画推進センター・スピカ	山口賢一支部長 前川賢一会員 小川 寛会員 竹永智彦会員	6件

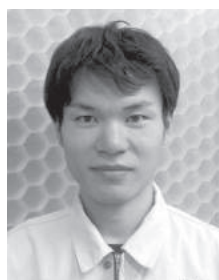


西 諫 早 公 民 館



男 女 参 画 推 進 セ ン タ ー ・ ス ピ カ

土地家屋調査士会に入会して



長崎支部

柴田真宏

平成26年5月12日付入会

平成26年5月に長崎支部

に入会した柴田真宏です。長崎支部の柴田盛義は私の父になります。私は長崎で生まれ、小中高校を長崎で過ごしました。大学は静岡の日本大学国際関係学部という現在の仕事とはほとんど無関係の学部に入会しました。

将来、仕事として成り立ちにくいのではないかと学部への志望動機を問われましたが、その頃の私はただ漠然とした好奇心を持っていただけでした。その好奇心も大学の周囲の環境に流され、いつしか失くしていました。

月日は経ち、大学の就職活動の時期になり、仕事でしたい事もできる事もなく悩ん

でいた私は、親や叔父の勧めもあり、半信半疑でしたが、土地家屋調査士を目指そうと思いました。そして、福岡国土建設専門学校で1年間学び、父の事務所に入会しました。

私は学生時代から試験直前にただひたすら覚えて、試験が終わると忘れてしまうような、その場しのぎの勉強をしていました。社会人として働くようになってからもそのスタイルで実務に従事してまいりましたが、ある時、私が一生懸命覚えようとしているのを見て、先輩から「覚えるな」と言われました。その時は気付かなかったのですが、私は今まで勉強することを生活の一部として体験として実感してこなかったのではないかと思います。

入会していろいろとご迷惑をかけることもあると思いますがご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



諫早支部

渡部聖吾

平成26年4月1日付入会

私は、高校卒業後、不動

産会社に勤務しており宅地建物取引主任者の資格を取得していたので独立開業しようと思っておりましたが、勤務中、土地家屋調査士という資格に興味を持ち取得したい

という思いが強くなりました。

会社を退職後、家業の農業を手伝いながら資格取得に向け勉強に励み幾度か挑戦しましたが、なかなか合格に至りませんでした。

そこで、受験会場等で知り合った仲間と共に励ましあいながら、諦めずやっと思いで昨年合格することができました。

試験に合格した勢いで早速土地家屋調査

士会に入会しましたが、測量や実務の経験はまったくなく、CADはもとよりパソコンも扱ったことがなかったので現在は高島調査士事務所様にて実習し、早く独立した事務所を開業できるように日々努力して頑

張っております。

入会して日もまだ浅く未熟者の私ですが、土地家屋調査士の名を汚すことがないように努力、精進して参りますので、御指導、御鞭撻の程、宜しく申し上げます。



島原支部

中川 雄一郎

平成26年2月20日付入会

私は、父が営んでおります土地家屋調査士・行政書士事務所に十数年勤めておりました。

今回入会して思いますのは、調査士本体の業務もさることながら、周辺知識の習得

と活用をどのようにしていくか、又、取得した行政書士の業務とどのように絡めていくか日々考察しながら、試行錯誤しているところでございます。

登録して日も浅く、まだまだ未熟な私ですが、日々精進して参りますので、ご指導のほど、よろしく願いいたします。

各部からのお知らせ

<研修部からの研修会予告>

第2回全体研修会を10月下旬に開催の予定をしております。

また、4年に一度行われている長崎県土地家屋調査士会の新人研修会を11月に開催いたします。新人研修会の対象者は未受講者と過去4年以内に入会された会員となります。必ず参加されますようお願いいたします。

<広報部からのお知らせ>

【全国一斉法務局休日相談所】

主催団体：法務局

開催日時：平成26年10月5日(日) 10時から16時まで

開催地区	開催場所	住所
長崎会場	長崎地方法務局	長崎市万才町8-16
大村会場	大村市コミュニティセンター第4会議室	大村市幸町25-33 シーハット内
島原会場	長崎地方法務局島原支局	島原市城内1-1204
佐世保会場	長崎地方法務局佐世保支局	佐世保市木場田町2-19
平戸会場	長崎地方法務局平戸支局	平戸市岩の上町1509-7
壱岐会場	長崎地方法務局壱岐支局	壱岐市郷ノ浦町本村触624-2
五島会場	長崎地方法務局五島支局	五島市紺屋町1-1
対馬会場	対馬市交流センター3階	対馬市厳原町今屋敷661-3

【平成26年度無料相談会】

主催団体：総務省、長崎行政評価事務所、長崎市、佐世保市、雲仙市

開催地区	開催名称・日時	開催場所
長崎会場	「平成26年度一日総合相談所」 平成26年10月29日(水) 10時～15時	メルカつきまち5階市民プラザホール・会議室 (長崎市築町3-18)
雲仙会場	「平成26年度なんでも無料相談会」 平成26年10月8日(水) 13時～16時30分	愛野町公民館 (雲仙市愛野町乙526)
佐世保会場	「平成26年度無料総合相談所」 平成26年10月23日(木) 10時～15時	佐世保市役所13階大会議室 (佐世保市八幡町1-10)

会 員 異 動

事務所変更

氏 名	旧 事 務 所	新 事 務 所	移転年月日	所属支部
宮崎 豊	西彼杵郡長与町三根郷61番地2	西彼杵郡長与町吉無田郷2011番地29 アールグレイ長与ビル202号	H25.8.30	長崎支部
岩村 太基	長崎市片淵二丁目15番3号	長崎市麴屋町5番7号1F	H26.4.2	長崎支部
杉山 和宏	佐世保市保立町252番地1	佐世保市俵町23番15号	H26.5.12	佐世保支部
山口 弘幸	佐世保市宮田町4番4号	佐世保市大黒町303番地A-3	H26.6.30	佐世保支部

新入会員

氏 名	事 務 所	登録番号	登録年月日	生年月日	所属支部
中川雄一朗	島原市今川町1855番地4	781	H26.2.20	S46.8.14	島原支部
渡部 聖吾	諫早市小長井町遠竹2015番地	782	H26.4.1	S37.1.8	諫早支部
柴田 真宏	長崎市興善町4番4号	783	H26.5.12	S56.3.6	長崎支部

法人会員

法人の名称	事 務 所	法人番号	成立年月日	社 員	所属支部
土地家屋調査士法人 寺岡事務所	長崎市万才町10番3号 サンガーデン万才町	31-0001	H26.4.10	寺岡 誠三	長崎支部
同 (従たる事務所)	五島市東浜町 一丁目4番3号	31-0001 -31-0001		寺岡 和雄	五島支部

退会会員

氏 名	事 務 所	登録番号	退会年月日	生年月日	所属支部
入江 了介	大村市東本町267番地1	515	H25.10.27	S16. 2. 5	大村支部
松井 正和	佐世保市小佐々町矢岳531番地	668	H26. 1. 9	S11.12.15	佐世保支部
山下 武司	長崎市布巻町581番地4	764	H26. 2.10	S49. 5.30	長崎支部
小林 有	佐世保市城間町527番地	176	H26. 1. 4	T14. 3.12	佐世保支部
井手 輝行	長崎市京泊一丁目22番27号	597	H26. 6.30	S25. 9.30	長崎支部
松井 敏明	東彼杵郡川棚町中組郷1572番地2	559	H26. 7.31	S19. 7.24	佐世保支部

物故会員



入江 了介 様

大村支部

平成25年10月27日御逝去（享年72才）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



小林 有 様

佐世保支部

平成26年1月4日御逝去（享年88才）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会 務 報 告

自 平成26年 4月 1日
至 平成26年 8月31日

年 月 日	会議名または行事名	出 席 者	場 所
平成26年 4月11日	第1回九州ブロック協議会会長会議	針本会長	マリンパレス かごしま
平成26年 4月15日	決算監査	針本会長、前田副会長、樋口監事、真崎監事、 内嶋監事	調査士会 会議室
平成26年 4月18日	第1回常任理事会	常任理事会構成員 8名	長崎県勤労福祉 会館 会議室
同上	第1回理事会	理事会構成員14名	長崎県勤労福祉 会館 会議室
平成26年 4月22日	第1回総務部会	総務部会構成員 4名	調査士会 会議室
平成26年 5月20日	第2回常任理事会	常任理事会構成員 8名、議長候補 1名、 司会者 1名	調査士会 会議室
平成26年 5月21日	長崎市総合防災訓練	針本会長、角総務部長、高比良総務部長	長崎市伊王島町
平成26年 5月23日	本会総会	針本会長以下168名	ホテルオークラ JRハウステンボス
平成26年 6月 6日	第2回九州ブロック協議会会長会議	針本会長	博多都ホテル
同上	九州ブロック協議会定時総会	針本会長、大久保副会長、前田副会長	同上
平成26年 6月 7日	同上	同上	同上
平成26年 6月17日	日本土地家屋調査士会連合会定時総会	針本会長、前田副会長	東京ドームホテル
平成25年 6月18日	同上	針本会長、前田副会長	同上
平成26年 6月24日	第2回総務部会	総務部会構成員 4名	調査士会 会議室
平成26年 6月27日	第1回法務局との事務打合せ会	常任理事会構成員 7名	長崎地方法務局 会議室
同上	第3回常任理事会	常任理事会構成員 8名	長崎県勤労福祉 会館 会議室
同上	第2回理事会	理事会構成員16名	長崎県勤労福祉 会館 会議室
平成26年 7月 8日	第1回正副会長会	正副会長 3名、角総務部長	調査士会 会議室
同上	第1回広報部会	広報部会構成員 4名	同上
同上	第1回財務部会	財務部会構成員 4名	同上
平成26年 7月11日	諫早市災害協定調印式	針本会長他 3名	諫早市役所
平成26年 7月18日	第2回正副会長会	正副会長 3名、角総務部長	調査士会 会議室
平成26年 7月23日	長崎市災害研修	角総務部長、前川総務部次長、高比良総務部員	長崎市役所
平成26年 7月26日	全国一斉不動産表示登記無料相談会	大久保副会長	諫早市高城会館 他
平成26年 8月 2日	西龍一郎氏黄綬褒章祝賀会	針本会長、相沢名誉会長、杉山相談役	熊本ホテル キャッスル
同上	九州ブロック認定登記基準点伝達研修会	松本業務部長、清水業務部次長	天神チクモクビル
平成26年 8月 3日	全国一斉不動産表示登記無料相談会	針本会長	調査士会
同上	同上	前田副会長	佐世保市男女共同参加 推進センター「スピカ」
平成26年 8月 5日	第1回境界問題相談センターながさき委員会	委員会構成員 6名	調査士会 会議室
同上	第2回広報部会	広報部会構成員 5名	同上
平成26年 8月 9日	全国一斉不動産表示登記無料相談会	角総務部長	総合福祉センター
平成26年 8月19日	第3回総務部会	総務部会構成員 4名	調査士会 会議室
平成26年 8月22日	業務、研修合同部会	業務部員 4名、研修部員 3名	調査士会 会議室
同上	九州ブロック協議会国民年金伝達研修会	針本会長、前田財務部長	福岡会 会議室
平成26年 8月23日	第3回九州ブロック協議会会長会議	針本会長	福岡会 会議室
平成26年 8月27日	公嘱協会総会	針本会長	ホテル セントヒル長崎
平成26年 8月29日	第1回全体研修会	針本会長以下91名（web研修含む。）	東彼杵町総合会館 2階大会議室

◀ 編集後記 ▶

今年の夏は、ここ数年の猛暑と違い、雨が
多く気温もさほど高くない日が続いてお
ります。

この雨の影響により日本各地で災害が発
生しているようですが、災害に見舞われた
方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、本年は長崎で45年ぶりに国民体育
大会（がんばらんば国体）が開催されます。
全国各地から延べ約90万人の来場者が見込
まれ、スポーツ大会の枠を超えた半世紀に
1度の一大イベントになります。1969年に
開催された時は、長崎県選手団は男女総合、

女子総合優勝の証しである「天皇杯」「皇
后杯」を勝ち取ったようです。本大会での
長崎県選手団の活躍を楽しみにしておきた
いと思います。

また、本号をもちまして会報ながさきが
70回目の発行を迎えることとなりました。
これもひとえに、会員の皆様の御尽力・御
協力の賜物であると感謝申し上げます。広
報部一丸となり、会報ながさきの更なる発
展を目指していきますので、これまで以上
に皆様の原稿収集のご協力の程、よろしく
お願い致します。



【特別価格・送料無料】好評図書のご案内

筆界特定登記官の実務に関するプロセス・留意点がわかる！



筆界特定事例集 2

東京法務局不動産登記部門地図整備・筆界特定室 編著 2014年2月刊 B5判 340頁 定価3,672円→特価3,300円

- 「申請人及び関係人の主張及び根拠～筆界の検討～結論」に至る実務の流れを紹介。
- 第2巻では、複雑な事案が増えている現状に対応するための新たな15事例を収録。

筆界特定事例集

東京法務局不動産登記部門地図整備・筆界特定室 編著 2010年11月刊 B5判 284頁 定価3,024円→特価2,720円

- 制度運用開始から5年間に蓄積された厳選24事例を収録。

類書の乏しい分野の登記実務を詳しく解説！不動産登記記録例も多数収録！



土地区画整理の登記手続

五十嵐徹 著 2014年4月刊 A5判 272頁 定価2,700円→特価2,430円

- 土地区画整理事業における登記手続に特化した解説書。
- 事業の流れに沿って、図表や記載例、Q&Aを用いながら、関係する登記実務を解説。
- 主要条文及び関法令を細かに引用しているので、根拠をすぐに確認できる。

登記官や実務家に信頼され続ける解説書！



新版 精解説例 不動産登記添付情報(上巻・下巻)

新井克美・後藤浩平 編著 (上巻) 2007年11月刊 A5判上製箱入 800頁 定価8,208円→特価7,390円

(下巻) 2008年3月刊 A5判上製箱入 732頁 定価7,668円→特価6,900円

- 複雑で多種多様な添付情報を網羅し、添付の要否とその理由等について解説。
- 事務処理を進める上で疑問を抱きやすい具体的事例を掲げ、書式や先例・判例を交えながら一問一答形式で解説。

「416問のQ&A」で必要知識を網羅



Q&A 農地・森林に関する法律と実務 登記・届出・許可・転用

末光祐一 著 2013年5月刊 A5判 616頁 定価6,048円→特価5,440円

- 実務で直面する「実践的な設問」をまとめた一冊。
- 先例・判例を多数収録。申請書・契約書のひな形も収録。
- 農地法、森林法のみならず関連する都市計画法、道路法、建築基準法等についても解説。



FAX注文書

FAX 03-3953-2061

特典コード 203088

(価格は税込)

FAXの送信間違いには、十分ご注意ください。※商品のお届け方法は郵送となります。

書名	特価(税込)	部数	書名	特価(税込)	部数
筆界特定事例集2 40538 筆界集2	3,300円	冊	新版 精解説例 不動産登記添付情報(上巻) 40148 精添上	7,390円	冊
筆界特定事例集 40415 筆界集	2,720円	冊	新版 精解説例 不動産登記添付情報(下巻) 40149 精添下	6,900円	冊
土地区画整理の登記手続 40547 土地区	2,430円	冊	Q&A 農地・森林に関する法律と実務 40509 農地森林	5,440円	冊

フリガナ お名前			
ご住所	〒		
	E-mail:		
	TEL:	FAX:	

※ご記入いただいた個人情報は、ご注文いただいた商品の発送、お支払い確認などの連絡および弊社からの各種ご案内(刊行物のDM・アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。

日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号

営業部 TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 <http://www.kajo.co.jp/>

営業時間:月～金(祝日は除く)9:00～17:00

複合機を 「節電」で選ぶ。 それが スマートチョイス。

TASKalfa 
256ci/206ci

TASKalfa 
306i/256i



スリープ節電 0.9W

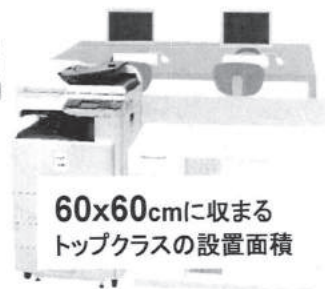
使わない時の待機消費電力、なんと**0.9W**

※スリープモード時、FAX未装着時

省スペース！

どんな場所にもフィットする白いボディ

純白のボディカラー。4つのコーナーを丸くして、どこから見られてもOKの360° デザイン。キャビネットの隣や、デスク近くにも置ける、やさしいデザインとしました。



コストを
トータルに
削減！



コピー、プリント、カラスキャン、FAX(オプション)
ほしい機能が全部入ってお手ごろ価格。

シンプル、簡単設計だから、保守価格もお手ごろ。
あなたのオフィスにぴったりのプランをお選びいただけます。

実際のコピー、プリントサンプルも無料でご覧いただけます。

その他のご質問や、プリンター商品などのお問い合わせも含め、ぜひ、お気軽にご相談ください。
あなたの地元のパートナーとして、心のこもった、ドキュメントソリューションのサービスをご提供させていただきます。

お問い合わせはこちら

九州精密株式会社

〒851-2121
長崎県西彼杵郡長与町岡郷498
TEL: 095-840-5282
FAX: 095-887-0282

フィールドデザインで日本の未来を創る

測量計算CADシステム「BLUETREND XA」

豊富な測量計算機能と、それに連動した専用CADで、「都市部」「平野部」「山間部」などあらゆるフィールドの測量業務に迅速に対応。

BLUETREND

XA NEW!
2015

測量計算CADシステム【ブルートレンド エグザ】



フィールドワークからオフィスワーク、データの管理・活用・連携まで

測量業務をフルサポート!

軽快なフィールドワークを担う!



X-FIELD

新登場!

現場端末システム【クロスフィールド】

現場仕様の抜群の操作性! 情報収集・集約もこの1台! さらに成果に直結! 現況観測はもちろん、縦断観測・横断観測も!

どこでも観測

— アンドロイド スマホアプリ —

測る! 撮る! 収集!
現場で手軽に軽快に!

Google™
地図を背景に



2014年8月上旬リリース予定(無料!)

さらなる効率化とスピードアップを生み出す高価値のデータ連携! 外業 & 内業の連携で、成果に向けてトータルサポート!

福井コンピュータ株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・青森・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

●製品に関する
お問い合わせは



0570-550-291

カスタマサポートセンター [受付時間] 9:00~12:00 / 13:00~18:00

※土曜、日曜、祝祭日、弊社指定の休業日は除きます。

上記ナビダイヤルは福井県坂井市に圏外し、着信地までの通話料はお客様のご負担となります。また、通話料金につきましてはマイラインの登録に関わらず、NTTコミュニケーションズからの請求となります。携帯電話からのご利用の場合は20秒ごとに10円の通話料がお客様のご負担となります。

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は

福井コンピュータ

<http://const.fukuicompu.co.jp>

用地測量の写真管理に お困りの方必見!! 境界杭の写真管理が驚くほど簡単に!!

土地実地調査書
写真管理システム

普段から境界杭の写真管理にお困りの皆様...

SIMAデータとデジカメ、タブレットを一元化させ、現場作業の軽減を図りませんか?

土地実地調査書写真管理システム
写真管理が簡単になる
2つのポイントとは?

ポイント1

現地での写真収集の効率化

■ 現地でSIMAデータと写真ファイルがリンクでき、点名の入力やファイル名の入力がいりません。
(自動リネーム機能搭載)

■ SIMAデータの図形と連動し、撮影箇所の境界杭を構成する境界線を写真へプロットします。

ポイント2

事務所での写真帳作成の効率化

■ タブレットで収集された境界杭の写真から、1筆綴りの写真帳をPC側で自動作成します。
■ 境界線の描画等をタブレット上&PCで行うことができ、PC側では、編集後の写真を選択し、出力したい写真のみ写真帳に出力することが出来ます。

オプション機能

図形表示機能

■ タブレットへ取り込んだSIMAデータをもとに、タブレット上で図形を表示する機能がオプションで選択できます。

現場



事務所

ニューリリース情報

・土地実地調査書写真管理システム
のLITE版が完成しました!
基本的な機能はそのままに、
通常版よりお安くなっております

1ライセンス15万円(税抜)



※こちらの金額はライセンスのみの金額となっております。
ご使用いただくには別途タブレットの等のハードウェアが必要になります。
※登録できる点数が1現場につき、50点までの制限付きライセンスとなります。

導入事例ご紹介

船津学土地家屋調査士事務所様
ご導入後、弊社システムの
便利なポイントをお聞きしたところ、
「写真データの編集後でも、写真帳に出力するかしないかを、
チェック一つで選ぶことが出来るので、写真帳に出力する必要がない点があれば、簡単に出力対象から外すことが出来、非常に便利です。」との有難いお言葉をいただきました。
導入事例は弊社HPでも公開中です!
URL↓

<http://www.ougis.co.jp/g2plain/>



※船津学土地家屋調査士事務所の皆様と弊社営業担当の宮野(右端)

◎デモ機貸出など、お問い合わせはこちらまで

扇光ソリューションズ株式会社

G&G-PLAIN 事業室 営業担当

TEL 095-839-2111

メールでのお問い合わせは→ solution@ougis.co.jp

新 最短合格講座

基礎力養成編/受講期間6カ月

9月期
9月1日(月)開講!

選べる2タイプ

DVD付タイプ
WMV映像ダウンロードタイプ



レクチャー/カ石 洋平
ADR認定土地家屋調査士・測量士
本学院専任講師

短期合格のためには、本試験で問われる最重要項目を、繰り返し何度も学習することが必要です。

本学院では長年にわたる土地家屋調査士講座の指導経験をもとに、初学者が最も効率よく学習できるよう工夫を凝らしたオリジナル教材「択一攻略ノート」と「書式攻略ノート」を作成しました。本講座は2015年8月の合格を目指した初学者向け通信教育です。「短期集中プログラム」に基づいた「新・最短合格講座」は、これまでの最短合格講座以上に、豊富な教材群で短期合格をサポートしていきます。

すべては“短期合格”が一番のテーマ

土地家屋調査士は不動産に関する調査、測量を行い、登記所への申請代理を行う資格です。弊社「新・最短合格講座」は土地家屋調査士試験の中でも「午後の部」を対象とした基礎力養成講座となります。

土地家屋調査士資格取得には「条文等の法律知識」と「作図・求積の技術」という2つの面での学習が必要です。試験対策学習においてはこの2面を関連付けることが効果的です。本講座ではオリジナル専用テキスト「攻略ノート」を中心に学習を進め、過去の本試験問題を収録した問題集での演習を通じて知識の確認をします。また、教材には質問票がついていますので疑問点の解決に利用してください。単元ごとの学習の最後には提出課題で習熟度を確認することで、土地家屋調査士試験に向けた知識を網羅することができます。

●本学院オリジナルの教材がポイント

学習に使用する教材の選択は、その後の学習計画の全てを左右する大切な部分です。本学院では、受験指導校としての実績をもとに余分な箇所を削り、本当に必要な部分のみで構成した画期的教材「択一攻略ノート」等を配付します。教材選択時の不安や、時間的ロスをなくした上に、学習進行中や本試験直前で見直しにおいても、かなりの威力を発揮することでしょう。

●初学者にも納得できる教材で、確かな理解

土地家屋調査士の業務の対象は「人」。それゆえ土地家屋調査士として依頼された仕事を成功させるためには、暗記ではなく、確かな理解と正確な判断力が要求されます。したがって、本講座では、「納得しながら、効率的、かつ確実に合格を」が指導コンセプトです。

《使用教材》



▲土地家屋調査士 最短合格講座(通信)教材

- ・テキスト 択一攻略ノートⅠ～Ⅶ … 7冊
- ・調査士試験に必要な数学 … 1冊
- ・測量・面積計算&図面作成(第4版) … 1冊
- ・テキスト 書式攻略ノートⅠ～Ⅲ … 3冊
- ・新版 択一 過去問マスターⅠ・Ⅱ … 各1冊
- ・新版 書式 過去問マスターⅠ・Ⅱ … 各1冊
- ・提出課題問題編/解説編 … 全8回分 各1冊
- ・確認テスト問題編/解説編 … 各1冊
- ・解説DVD … 35枚(DVD付タイプ)
- ・解説映像ファイル … 35個(ダウンロードタイプ)
- ・質問票 … 6回分
- ・縮尺定規「すいすい君、すらすらちゃん」… 1組(直角二等辺三角形(2枚)+直定規のセット)
- ・全円分度器 … 1個
- ・関数電卓の基本操作方法/テキスト … 1冊
- ・/DVDまたはWMVファイル … 1巻
- ・補助教材一式

(※) 2015年版(最新版)の「調査士受験必携六法」につきましては、最短合格講座にお申込みの方には発刊され次第、手数料・追加学費なくご送付いたします。

本誌をご覧の方は、
特別減免学費で
お申込みできます。

30%OFF

■学費(税込)

新・最短合格講座 2015

基礎力養成編/DVD付タイプ

- 一般学費 272,600円
- 特別減免学費 190,820円

基礎力養成編/ 映像ダウンロードタイプ

- 一般学費 236,600円
- 特別減免学費 165,620円

高実績と信頼 大人が選ぶ LICENSE SCHOOL
東京法経学院
★ホームページ <http://www.thg.co.jp>

〒160-0003
東京都新宿区本塩町21
ラポ東京ビル8F
TEL. 03(6457)8541
FAX. 03(5362)0280



資料請求



ご存知ですか？

会員皆様方の福利厚生の一環

として、法倫會館と指定契約割引を交わしています。

長崎県
土地家屋調査士会 さま

特別特典のご案内

葬 祭

特典内容

送る人、送られる人の立場にたち、
誠心誠意ご奉仕いたします。



葬儀施行

20%OFF

- 葬儀祭壇
- お骨壺一式
- 御 棺
- 後飾り祭壇
- 本館控室料



敬 供 品

10%OFF

- 生花スタンド ○外花環
- 灯笼 ○霊前灯
- ※花キューピットご利用の場合は対象外



喪服レンタル

20%OFF

- 喪服[Lサイズ・Mサイズ・アンサブル]
- 礼服[シングル・ダブル]
- 身長・体重・腰周りを
ご連絡ください。



精霊船 盆用品

家紋提灯からもやいの精霊船まで
ご予約承ります。



仏壇・仏具

20%OFF

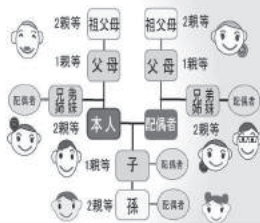
各宗派仏壇・現代仏壇取り揃えています。



適用範囲

ご家族も契約割引が
適用できます。

2親等の方(配偶者含む)までと
幅広がっています。



互助会との併用可能！

法倫會館の互助会システムは、契約割引と併せて
ご利用(葬儀施行)する事が、でき大変お得です！

互助会 Kコース 月々 1,500円×120回 完納額 180,000円

法 倫 會 館

株式会社 長崎新生活センター



長崎法倫會館
TEL095-849-4000
長崎市茂里町3番31号



諫早法倫會館
TEL0957-24-4000
諫早市栗面町120番地1



佐世保法倫會館 大塔商場
TEL0956-33-4000
佐世保市大塔町616番18号

長崎県土地家屋調査士会の皆様へ

「**集団扱自動車保険**」 **ご加入のおすすめ！**

◆日本土地家屋調査士会連合会様と**集団契約**を締結させていただいております。

1. 自動車保険

- * 保険料が割安・・・一般で加入する場合に比べ保険料は**約5%割安**
- * 他社からの無事故割引も継承できます。

三井住友海上火災保険(株) 代理店

○長崎・諫早・大村地区担当

ノバリ長崎トータルサービス

〒850-0033 長崎市万才町 6-35 三井生命長崎ビル 5 階
TEL(095)832-2430 FAX(095)832-2580
E-mail: totalservice7628@air.ocn.ne.jp
<http://www.hoken3704.net/>

○島原半島地区担当

(有)ライフサポート

〒855-0862 島原市新湊 1-34
TEL(0957)64-5940 FAX(0957)65-0282
E-mail: life110@fsinet.or.jp
<http://www.dairitenhp.com/life110/>

○佐世保・北松・東彼地区担当

(有)スマイル保険

〒857-1166 佐世保市木風町 1467-2 西田商事ビル 3 階
TEL(0956)26-1870 FAX(0956)26-1871
E-mail: smile@smilehoken.jp
<http://smilehoken.jp>

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい
桐栄サービスの願いです

職業賠償責任保険

会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。

団体所得補償保険

保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1か月につき補償額をお支払いする制度です。(最長1年間)

団体総合生活補償保険

保険期間中、国内外を問わず
1) 日常生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。
2) 病気による入院を日帰り入院より補償します。

測量機器総合保険

会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶発の事故を補償します。

集団扱自動車保険

会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

損害保険代理店

有限会社 桐栄サービス

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-2-10 土地家屋調査士会館6階

TEL : 03-5282-5166

FAX : 03-5282-5167

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問い合わせをお願い致します。

点字印刷・帳票・パンフ・チラシ・自叙伝・会報誌

印刷物のバリアフリー化を目指して！ 昭英印刷点字印刷事業部

自費出版のお手伝い・本づくりならおまかせください！ 昭英出版

点字印刷物・自費出版についての、ご質問・ご相談はお気軽にお問合わせ下さい

SHOUEI PRINTING CO., LTD

 **昭英印刷株式会社**

本社／工場 〒852-8117 長崎県長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231(代) FAX 095-847-7085
E:mail shouei@mx.b.cncm.ne.jp URL <http://www5.cncm.ne.jp/~shouei/>

平成 26 年 9 月 30 日 印刷
平成 26 年 9 月 30 日 発行
発行者 長崎市桜町7番6-101号
サンガーデン桜町1階
電話 (095)828-0009
長崎県土地家屋調査士会
会長 針本久則
編集 広報部
印刷所 昭英印刷(有)